

「リール」以下ノ罰金ヲ附加ス但其一人ノミノ生命ヲ害シタルモノト雖モ其他ノ數人ヲシテ第三百七十九條第一、第二、第三ニ掲ケタル毀傷ヲ負ハシメタル時亦同シ

第三百九十條

第一項 前項ニ記載シタル理由ニ依リ人ヲシテ創傷ヲ負ハシメタル者ハ有罪創傷ノ罪ト爲シ第三百七十九條ニ掲ケタル場合ニ於テハ一年以下ノ囚獄ニ處シ第三百八十條ニ掲ケタル場合ニ於テハ被害者ノ告訴ヲ俟テ三月以下ノ囚獄ニ處ス

第二項 若シ數人ヲシテ創傷ヲ負ハシメタルトキハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ加フ

第三百九十一條

人ヲ侵襲セント欲シ誤テ他ノ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ其身分ニ依テ受クヘキ殺傷ニ關スル加重ノ刑ヲ科セス

第四節 數人共犯ニ係ル殺傷毆闘ノ罪

第三百九十二條

數人共ニ殺傷ノ罪ヲ犯シ現ニ人ノ死ニ至リ又ハ第三百七十九條、第三百八十條ニ記載シタル効力ヲ生セシメタルニ當リ其死ニ致シ又ハ効力ヲ生セシメタル本犯ヲ知ルコト能ハザルトキハ總ヘテ從犯ノ刑ヲ科ス

第三百九十三條

第一項 數人共ニ毆闘シ又ハ偶然ノ所爲ニ依リ人ヲ死ニ致シ若シハ人ヲ創傷シ因テ死ニ致シタルトキハ總ヘテ其死ニ至ルヘキ重傷ヲ生セシメタル者ヲ情狀ニ從ヒ無意殺傷ノ刑ニ處ス

第二項 死ニ至ルヘキ重傷ノ本犯ヲ知ルコト能ハザルトキ若シハ數人ニテ至重ナル創傷ヲ加フルニ因テ人ヲ死ニ致シタルトキハ總ヘテ被害者ニ手ヲ下シタル者ヲ十年以下ノ追放ニ處ス

第三百九十四條

第一項 數人共ニ毆闘シ又ハ偶然ノ所爲ニ依リ一人若シハ數人ニ創傷ヲ加ヘタルトキハ現ニ生シタル創傷ニ從テ各自ニ本刑ヲ科ス

第二項 創傷ノ本犯ヲ知ルコト能ハザルトキ若シハ數人ニテ創傷ヲ加フルニ因テ第三百七十九條、第三百八十條ニ掲ケタル結果ヲ生シタルトキハ總ヘテ被害者ニ手ヲ下シタル者ヲ前數條ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減シテ之ニ處ス

第三百九十五條

毆闘ノ教唆者ハ前數條ニ記載シタル刑ノ短期ニ處スルコトヲ得ス

第三百九十六條

毆闘ヲ爲スニ當リ殺人罪ノ効チ缺キ若クハ遂ケザル場合ニアラスシテ火器ヲ弄シタル者ハ人ノ身體ニ創傷ヲ加ヘサルトキト雖モ三月以上二年以下ノ囚獄ニ處ス

第五節 懲戒規律ヲ濫用シ及ヒ私家ニ於テ虐待ヲ爲スノ罪

第三百九十七條

擅ニ懲戒規律ニ關スル手段ヲ施用シテ其權下ニ立チ又ハ教育監督ノ爲メ若クハ職業、技術ヲ營ムニ付キ委託セラレタル幼者ヲシテ其健康ヲ損ハシメ又ハ之ニ危害ヲ加ヘタル者ハ一年以下ノ囚獄ニ處ス

第三百九十八條

懲戒規律ノ目的ニアラスシテ私家ニ於テ虐待ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ囚獄ニ處ス若シ卑屬親ノ尊屬親ニ對シ爲シタルトキハ二年以上ノ囚獄ニ處ス

第三百九十九條

丁年者ニ對シ前二條ニ記載シタル罪ヲ犯シタルトキハ私訴ニアラザレハ之ヲ審理セス

第六節 幼者其他自活スル能ハザル者ヲ遺棄スル罪

第四百條

第一項 九歳以下ノ幼者又ハ精神上或ハ身體上ノ病患ニ因リ自ラ生活スル能ハザル者若シハ看守、看護ヲ委託セラレタル者ヲ遺棄シタル者ハ二年以上三年以下ノ禁錮ニ處ス

第二項 前項ニ記載シタル者ヲ寮闕ノ地ニ遺棄シタルトキハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ加フ

第四百一條

遺棄ノ罪ヲ犯スニ當リ人ノ身體ヲ毀傷シ又ハ健康ニ至重ナル損害ヲ加ヘタル者ハ三年以上禁錮ニ處シ因テ死ニ致シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第四百二條

第一項 父母ノ其嫡出又ハ私生ナルモ法律上認メラレタル子女ニ對シ若シハ養父母ノ其養子女ニ對シ遺棄ノ罪ヲ犯シタルトキハ各本刑ニ一等又ハ二等ヲ加フ

第二項 自己若クハ母子、姉妹ノ名譽ヲ全フスル爲メ身上證據冊ニ登記セザル前幼者出生ヨリ五日内ニ之ヲ遺棄シタル者ハ其刑ヲ加重スルノ限ニアラス但前條ニ掲ケタル懲役及ヒ禁錮ノ刑ニハ追放及ヒ囚獄ノ刑ヲ以テ之ニ代ユルモノトス

第七節 決闘ノ罪

第四百三條

第一項 人ニ決闘ヲ挑ミタル者ハ人ノ之ニ應ゼズ又ハ其決闘ノ効チキトキト雖モ千「リ」

レ以下ノ罰金ニ處ス但其教唆ニ出タルトキハ本刑ニ一等ヲ減ス

第二項 決闘ヲ挑マレ之ニ應シタル者ハ其教唆ヲ爲シタルニ於テハ其効ナキトキト雖モ前項同一ノ刑ニ處ス

第四百四條

決闘ヲ挑ミタル者及ヒ其對手ハ闘争場ニ臨ミ兵器ヲ使用シタルトキハ毫モ創傷ヲ生セザルトキト雖モ三月以下ノ囚獄四千「リール」以下ノ罰金及ヒ五年以下ノ官職停止ニ處ス

第四百五條

決闘者他ノ一方ヲ殺シ又ハ死ニ致スヘキ重傷ヲ負ハシメタルトキハ五年以上八年以下ノ囚獄六千「リール」以上ノ罰金及ヒ十年ノ官職停止ニ處ス

第四百六條

第一項 決闘者他ノ一方ヲ創傷シタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 第三百七十九條第一第二ノ場合ニ於テハ三年以上ノ囚獄及ヒ四千「リール」以上六千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

二 第三百七十九條第三ノ場合ニ於テハ一年以上三年以下ノ囚獄及ヒ二千「リール」以上六千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

三 第三百七十九條第四ノ場合ニ於テハ四月以上一年以下ノ囚獄及ヒ千「リール」以上四千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

四 第三百八十條ニ記載シタル場合ニ於テハ一年以上ノ囚獄及ヒ五百「リール」以上四千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二項 本條ニ記載シタル刑ニハ必ス三年以上七年以下ノ官職停止ヲ附加ス

第四百七條

教唆ニ因リ決闘ヲ爲シタル者ハ前二條ニ記載シタル囚獄及ヒ罰金ノ刑ニ一等ヲ減ス若シ教唆ヲ受クルモ決闘ヲ挑ムニ至ラザリシトキハ本刑ニ二等ヲ減ス決闘ヲ教唆セラレタル者之ヲ挑ミタルトキト雖モ官職停止ノ刑ヲ科セス

第四百八條

第一項 書面又ハ口頭ニテ決闘ヲ挑撥スル者其決闘ノ効ナキトキハ決闘ノ本犯ヲ以テ論シ其効アルトキハ第四百四條、第四百五條、第四百六條ニ記載シタル刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第二項 決闘ノ紹介ヲ爲ス者其決闘ヲ防止スルニ至リタルトキハ本刑ヲ免ス

第四百九條

第一項 決闘ノ證人又ハ介副人ハ第四百四條、第四百五條、第四百六條ニ記載シタル刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第二項 決闘ノ證人又ハ介副人其決闘ノ結果ヲシテ輕微ナラシムルニ盡力シタルトキハ本刑ニ二等又ハ三等ヲ減ス若シ其闘争ヲ防止スルニ至リタルトキハ本刑ヲ免ス

第四百十條

第一項 決闘ヲ拒辭シタル爲メ公然人ヲ罵詈訾シ又ハ公ケノ誹謗ヲ招カシメ若クハ新聞紙、書面、言語ヲ以テ決闘ヲ拒辭シタルヲ流布セシメタル者ハ三月以上一年以下ノ囚獄及ヒ千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二項 誹謗ヲ以テ示威、脅迫シ人ヲシテ決闘ヲ爲スニ至ラシメタル者ハ決闘ヲ紹介スル者ノ刑ニ處ス

第四百十一條

此節ニ記載シタル規則ハ外國ニ於テ本國人二名ノ間ニ爲シタル決闘若クハ王國ニ於テ本國人一名及ヒ外國人一名ノ間ニ爲シタル決闘ニモ亦之ヲ適用ス

第四百十二條

第一項 第四百五條及ヒ第四百六條ニ記載シタル刑ハ左ノ場合ニ於テ本章第一節及ヒ第二

節ニ定メタル故意殺傷ノ刑ニ換フ

一 證人又ハ介副人ニ於テ豫メ定メタル條件ニ由ラスシテ闘争ヲ爲シタル時

二 證人又ハ介副人ノ面前ニ於テセスシテ闘争ヲ爲シタル時

三 闘争ニ使用スル兵器ノ一様ナラス又ハ其兵器ノ刀劍若クハ彈藥ヲ裝置シタル短銃ニアラザリシ時

四 兵器ノ撰定若クハ闘争ヲ爲スニ當リ偽計ヲ施ラシ又ハ結約、規定シタル條件ヲ犯シタル時

五 決闘者ノ一方ヲ死ニ致スヘキノ契約ヲ特記シ又ハ結約シタル決闘ノ性質ニ依テ其死ヲ生シタル時

六 短銃ヲ以テ決闘ヲ爲スニ當リ雙方ノ間ニ十六「メートル」以上ノ距離ヲ存セザリシ時但白刃ニ付テハ何レノ場合ヲ問ハス其刃端ノ半以上ノ距離ヲ存スルヲ必要トス

第二項 前項ニ記載シタル總テノ場合ニ於テ決闘ヲ紹介シタル者及ヒ其證人又ハ介副人ハ故意殺傷ノ從犯ヲ以テ論シ其通常ノ刑ニ照シテ處斷ス

第三項 第一項第四ニ記載シタル情狀ハ現ニ偽計ヲ施ラシ又ハ決闘ノ契約ヲ破リタル者ノ責ニ歸スヘキノ勿論仍ホ決闘者、證人、介副人中豫メ若クハ其決闘ヲ爲スニ當リ之ヲ知り

タル者ニモ及ホスモノトス

第四項 本條ニ記載シタル刑ハ前數條決闘ノ罪ニ科スヘキ刑ヨリ輕キヲ得ス若シ決闘者、決闘ヲ紹介スル者、證人又ハ介副人追放若クハ輕罪ノ刑ニ處セラル、トキハ必ス前數條ニ記載シタル罰金及ヒ官職停止ノ附加刑ニ一等ヲ加フ

第四百十三條

決闘者ノ雙方若クハ其一人現ニ決闘ニ至リタル事實ヲ知ラズシテ直接關係者ノ代リニ闘爭ヲ爲シタルトキハ第四百四條、第四百五條及ヒ第四百六條ニ記載シタル刑ニ一等又ハ二等ヲ加フ但決闘者第二百八條第三ニ掲ケタル等級ニ於ケル直接關係者ノ親屬ニ係ル場合ハ此限ニアラス

第四百十二條ニ記載シタル場合ニ於テ換ヘタル刑ハ前三條ノ刑ニ二等ヲ加ヘタルモノヨリ輕キヲ得ス

第四百十四條

決闘ノ教唆又ハ脅迫ニ依リ金額其他ノ利益ヲ得タル者ハ恐喝取財ノ罪ニ科スヘキ第四百四十六條第二項ノ刑ニ處ス

第八節 誹毀、讒謗、罵詈ノ罪

第四百十四條

第一項 數人合同シ又ハ各別ニ通謀シテ風説ヲ流布セン爲メ一定ノ所爲ヲ人ニ歸シ若シ其所爲ノ證アリテ公訴又ハ衆人ノ輕侮、憎惡ヲ招クヘキトキハ誹毀ノ罪トス

第二項 若シ官文書、印刷手段又ハ頒布シタル文書、圖書ヲ以テ人ヲ誹毀シタルトキハ讒謗ノ罪トス

第四百十六條

誹毀、讒謗ノ性質ヲ有セザル凌辱ヲ人ニ與ヘタル者ハ罵詈ノ罪トス

第四百十七條

第一項 誹毀ノ罪ヲ犯シタル者ハ四月以上一年以下ノ囚獄及ヒ二千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二項 讒謗ノ罪ヲ犯シタル者ハ四月以上二年以下ノ囚獄及ヒ四千「リール」以下ノ罰金ニ處ス但印刷手段ヲ以テ讒謗ノ意ヲ流布シタルトキハ本刑ノ短期ニ處スルヲ得ス

第三項 罵詈ノ罪ヲ犯シタル者ハ三月以下ノ囚獄及ヒ五十「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第四百十八條

印刷手段ヲ以テセサル教唆ニ因リ罵詈ノ罪ヲ犯シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ス若シ雙方互ニ

罵詈シタルトキハ裁判官ニ於テ情狀ニ從ヒ其雙方又ハ一方ノミノ刑ヲ免スルヲ得但身體ニ暴行ヲ受クルニ因リ罵詈ヲ爲シタル場合ハ刑ヲ科スルノ限ニアラス

第四百十九條

第一項 誹毀、讒謗、罵詈ニ關スル被告人ハ宥恕ヲ得ル爲メ其事實及ヒ誹毀、讒謗セラレタル者ニ歸スヘキ所爲并資格ノ證明ヲ爲スヲ許サス

第二項 左ノ場合ニ於テハ事實ノ證明ヲ爲スヲ許サス

一 誹毀、讒謗、罵詈セラレタル者公力吏員ニシテ之ニ歸セラレタル所爲并資格ノ其職務上ニ關係シ審問又ハ懲戒處分ニ至ラシムヘキ時

二 誹毀、讒謗、罵詈ヲ以テ歸セラレタル所爲ニ因リ被告人ノ審問ニ付セラレヘキ時

三 告訴人ニ於テ裁判上誹毀、讒謗、罵詈ニ關スル事實及ヒ資格ノ眞偽ヲ確メントシ公然請求シタル時

第四百二十條

原被両造ノ争訟ヲ爲スニ當リ裁判官ハ提出シタル文書若クハ法廷ニ於テ爲シタル陳述、辨論ノ誹毀、罵詈ニ涉ルモノハ刑ヲ科セザルモノトス但裁判官ハ法律ニ定メタル懲戒處分及ヒ被害者ノ爲メニ徵收スヘキ賠償金ノ外ニ誹毀、凌辱ニ涉ル書類ノ全部又ハ幾分ヲ毀

棄スルヲ得

第四百二十一條

第一項 誹毀、讒謗、罵詈ノ罪ヲ犯スニ因テ刑ニ處スルトキハ其犯罪ノ用ニ供シタル印刷器械書類、圖書ヲ沒收シ及ヒ毀棄スルノ刑ヲ附加ス但沒収及ヒ毀棄スル能ハザル書類ニ付テハ其裁判言渡書ヲ之ニ添付スルモノトス

第二項 前項ニ記載シタル裁判言渡書ハ告訴人ノ請求ニ依リ犯人ノ費用ヲ以テ一回又ハ二回其指定スル新聞紙ニ公告セシム但其新聞紙ノ數ハ三種ヲ限リトス

第四百二十二條

第一項 前數條ニ記載シタル犯罪ニ付テハ止テ被害者ノ告訴ヲ俟テ其罪ヲ論ス

第二項 然レモ左ニ記載シタル場合ニ於テハ告訴ヲ俟タズ職權ヲ以テ審理スルモノトス

- 一 立法、司法、行政官署ニ對シテ本罪ヲ犯シ同官署ヨリ審理ヲ爲スヲ許サレタル時
- 二 官吏陪審員公力吏員ニ對シテ其職務ニ關シ誹毀、讒謗、罵詈ヲ爲シ因テ其吏員ヲシテ審問又ハ懲戒處分ヲ受ケシムルニ至ル時

第三項 被害者告訴前死亡シ又ハ死者ニ對シ本罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ其配偶者、尊屬親、卑屬親、兄弟、姉妹及ヒ其卑屬親并直系ノ姻屬及ヒ相續人ニ於テ告訴ヲ提出スルヲ

ヲ得

第四百二十三條

誹毀、讒謗ニ關スル公訴ノ期滿免除ハ一年ヲ以テ其限リトシ罵詈ニ關スル公訴ノ期滿免除ハ三月ヲ以テ其限リトス

第九節 郵書、電信ヲ開披、毀棄シ及ヒ秘密ヲ漏泄スル罪

第四百二十四條

第一項 擅ニ己レニ宛テザル郵書及ヒ狀包ヲ開披シ又ハ正當ノ事由ナクシテ記載ノ事項ヲ知ラン爲メ封印セザル他人ノ信書ヲ領取シタル者ハ其告訴ヲ俟テ千「リール」以下ノ罰金ニ處ス若シ其記事ヲ漏告シ因テ人ヲ害スルニ至リタルトキハ四月以上一年以下ノ囚獄及ヒ二千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二項 擅ニ己レニ宛テザル信書及ヒ狀包ヲ毀棄シタル者ハ之ヲ開披セサルモ其告訴ヲ俟テ四月以上一年以下ノ囚獄及ヒ二千「リール」以下ノ罰金ニ處ス若シ因テ人ヲ害スルニ至リタルトキハ本刑ノ短期ニ處スルヲ得ス

第四百二十五條

第二項 郵便、電信局ノ官吏其局ニ存シ又ハ職務ニ依テ付托セラレタル封印セザル他人ノ

郵書、電信ヲ領取シ若クハ正當ノ事由ナクシテ其記載ノ事項ヲ知ラン爲メ之ヲ開披シ又ハ宛名以外ノ人ニ其書信ノ存在及ヒ記事ヲ漏告シタルトキハ四月以上二年以下ノ囚獄及ヒ官職停止ニ處ス

第二項 郵便、電信局ノ官吏郵書又ハ發送ノ爲メ差出シ若クハ宛名人ニ交付スル爲メ領收シ或ハ發送ノ際知リタル電信ヲ毀棄、滅失シタルトキハ前全一ノ刑ニ處ス

第三項 前數項ニ記載シタル所爲ニ依リ人ヲ害スルニ至リタルトキハ本刑ニ二千「リール」以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十六條

第一項 身分、職務、職業ニ因テ秘密ヲ知り得タル者正當ノ事由ナクシテ他人ノ利益及ヒ名譽ヲ害スルヲ得ヘキ漏告ヲ爲シタルトキハ其告訴ヲ俟テ二千「リール」以下ノ罰金及ヒ一年以下ノ官職停止ニ處ス但法律ニ據リ訊問ヲ爲スノ權利ヲ有スル官吏ニ對シ之ヲ告知スルハ此限ニアラス若シ其漏告ニ依リ人ニ害ヲ加ヘタルトキハ一年以上二年以下ノ官職停止ニ處ス

第二項 秘密ノ漏告ニ因テ讒謗、誹毀、罵詈ノ罪ヲ構造スルニ至リタルトキハ本刑ニ一等ヲ加フ

ヲ得

第四百二十三條

誹毀讒謗ニ關スル公訴ノ期滿免除ハ一年ヲ以テ其限リトシ罵詈ニ關スル公訴ノ期滿免除ハ三月ヲ以テ其限リトス

第九節 郵書、電信ヲ開披、毀棄シ及ヒ秘密ヲ漏泄スル罪

第四百二十四條

第一項 擅ニ己レニ宛テザル郵書及ヒ狀包ヲ開披シ又ハ正當ノ事由ナクシテ記載ノ事項ヲ知ラン爲メ封印セザル他人ノ信書ヲ領取シタル者ハ其告訴ヲ俟テ千「リール」以下ノ罰金ニ處ス若シ其記事ヲ漏告シ因テ人ヲ害スルニ至リタルトキハ四月以上一年以下ノ囚獄及ヒ二千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二項 擅ニ己レニ宛テザル信書及ヒ狀包ヲ毀棄シタル者ハ之ヲ開披セサルモ其告訴ヲ俟テ四月以上一年以下ノ囚獄及ヒ二千「リール」以下ノ罰金ニ處ス若シ因テ人ヲ害スルニ至リタルトキハ本刑ノ短期ニ處スルヲ得ス

第四百二十五條

第一項 郵便、電信局ノ官吏其局ニ存シ又ハ職務ニ依テ付托セラレタル封印セザル他人ノ

郵書、電信ヲ領取シ若クハ正當ノ事由ナクシテ其記載ノ事項ヲ知ラン爲メ之ヲ開披シ又ハ宛名以外ノ人ニ其書信ノ存在及ヒ記事ヲ漏告シタルトキハ四月以上二年以下ノ囚獄及ヒ官職停止ニ處ス

第二項 郵便、電信局ノ官吏郵書又ハ發送ノ爲メ差出シ若クハ宛名人ニ交付スル爲メ領收シ或ハ發送ノ際知リタル電信ヲ毀棄、滅失シタルトキハ前全一ノ刑ニ處ス

第三項 前數項ニ記載シタル所爲ニ依リ人ヲ害スルニ至リタルトキハ本刑ニ二千「リール」以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十六條

第一項 身分、職務、職業ニ因テ秘密ヲ知り得タル者正當ノ事由ナクシテ他人ノ利益及ヒ名譽ヲ害スルヲ得ヘキ漏告ヲ爲シタルトキハ其告訴ヲ俟テ二千「リール」以下ノ罰金及ヒ一年以下ノ官職停止ニ處ス但法律ニ據リ訊問ヲ爲スノ權利ヲ有スル官吏ニ對シ之ヲ告知スルハ此限ニアラス若シ其漏告ニ依リ人ニ害ヲ加ヘタルトキハ一年以上三年以下ノ官職停止ニ處ス

第二項 秘密ノ漏告ニ因テ讒謗、誹毀罵詈ノ罪ヲ構造スルニ至リタルトキハ本刑ニ一等ヲ加フ

第三項 官吏自ラ本罪ヲ犯シタルトキハ第九十六條ニ記載シタル刑ニ處ス但囚獄ノ刑期ニ關シ前項ノ規則ヲ適用スル場合ハ此限ニアラス

第十三章 財産ニ對スル罪

第一節 盜罪

第四百二十七條

利益ノ目的ニ因リ所有主ノ許諾ヲ得ズシテ己レニ屬セザル動産物件ヲ其存在スル場所ヨリ取り以テ自ラ之ヲ占有シタル者ハ盜罪ノ犯人トス

第四百二十八條

未ダ承諾ヲ得ザル遺産相続ニ關スル物件ニ對シテ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ共同所有主若シハ共同相続人ノ其共有物件ニ對シテ犯シ或ハ其所有主相続人ニ於テ留存セサル所ノ分派スヘカラザル相続ニ關スル物件ニ對シテ犯シタル者ハ亦盜罪ノ犯人トス

第四百二十九條

第一項 贓物ノ價額千リ一ニ超過スルトキハ價値ニ關スル盜罪トス

第二項 贓物ノ價額トハ盜罪ヲ犯スノ際有シタル價値ヲ指シ犯人ノ因テ得タル利益ノ如何ニ拘ハラサルモノトス若シ他ニ之ヲ定ムルノ道ナキトキハ裁判官ノ妥當ナル判斷ニ任ス

ハシ

第四百三十條

左ノ場合ニ於テハ身體ニ關スル盜罪トス

- 一 使役ヨリ生スル便利ニ乘シ僕婢ノ其家主又ハ其家ノ内外ヲ問ハス他人ノ物品ニ付キ犯シタル時
- 二 家主又ハ其家族ノ自家ニ存スル僕婢ノ物品ニ付キ犯シタル時
- 三 款待ヲ受クル者又ハ其家族ノ宿主ノ物品ニ付キ犯シ若シハ宿主又ハ其家族ノ款待スル者或ハ家族ノ物品ニ付キ犯シタル時
- 四 旅店、下宿屋ノ主人、運送營業人及ヒ其雇人ノ旅客、止宿人ノ携帶物品ニ付キ犯シ若シハ旅客、止宿人ノ旅店、下宿屋及ヒ車中ニ存スル物品ニ付キ犯シタル時
- 五 同居人其主人ノ家ニ於テ犯シ又ハ寄宿生徒、年季徒弟、職工及ヒ雇員ノ其學問、職業、技術、職務ニ因リ自由ニ出入スルヲ得ル場所ニ於テ犯シ若シハ是等ノ目的ニ因リ出入スル者ニ對シ犯シタル時

第四百三十一條

第一項 盜罪ヲ犯スノ際主人ノ家ニ於テ給料、食料ヲ受ケ其他ノ約定ニ因リ使役ニ供スル

者ハ其主人ノ家ニ同居セザルトキト雖モ僕婢ト爲ス

第二項 己レノ家ニ於テ食料又ハ部屋ヲ人ニ給與シ若クハ二者共ニ之ヲ給與シ其報酬ヲ受ケザル者ヲ款待ヲ爲スモノトス

第四百三十二條

第一項 左ノ場合ニ於テハ時間ニ關スル盜罪トス

一 水火、震災、難船、戰爭其他一般若クハ被盜人ニ係ル特別ノ變ニ乘シテ盜罪ヲ犯シタル時

二 一人ノ住居スル家屋又ハ其附屬物ニ入り夜間盜罪ヲ犯シタル時

第二項 現ニ人ノ住居シ又ハ住居ニ供スル建造物及ヒ用材ノ如何ヲ問ハス構造シタル小舎ハ移動スルヲ得ヘキトキト雖モ住居ニ充ルモノハ人ノ住居スル家屋トス

第三項 建造物ニ屬スル總テノ屋舎ハ其間相通セザルモノト雖モ人ノ住居スル家屋ノ附屬物トス其構内ニ在ル廐舎、秣草場、倉庫、物置場、中庭、園圃其他之ト同種類ニシテ繞圍ヲ施サハルモノト雖モ皆テ附屬物ヲ以テ論ス

第四項 港口又ハ海岸ニ碇泊スル船舶ハ住居スル建造物ニ準ス

第五項 夜間ト稱スルハ日沒後一時ヨリ日出前一時迄ノ時間ヲ云フ

第四百三十三條

左ノ場合ニ於テハ手段ニ關スル盜罪トス

一 踰越、損壞シ若クハ偽鑰ヲ用ヒテ犯シタル時

二 法律ニ定メタル目的ノ爲メ官吏ノ施シ又ハ當該官署ノ命令ニ因テ爲シタル封印ヲ假棄シテ犯シタル時

三 假面其他扮裝シテ犯シタル時

四 官吏、公力吏員ノ身分、服飾ヲ詐稱、僭用シテ犯シタル時

第四百三十四條

第一項 損壞トハ盜罪ヲ犯シ又ハ贓物ヲ運搬スル爲メ門戸、牆壁、床板、鐵柵、關鑰、柵、篋子、函櫃、車其他閉鎖シタル動產物件ヲ破開、除去、毀壞スルヲ云フ其盜罪ヲ犯シタル場所ニ於テ之ヲ損壞セザル時ト雖モ亦同シ

第二項 錠ヲ開ク爲メニ用ユル一切ノ器械及ヒ偽造シ若クハ錠ヲ開クノ用ニ供セザル錠ヲ偽鑰ト云フ其家主ノ紛失シタルモノ又ハ盜取セシモノ若クハ不正ニ得タルモノ亦同シ

第三項 踰越トハ盜罪ヲ犯シ又ハ贓物ヲ運搬スル爲メ偽計ヲ用ヒ又ハ他人ノ幫助ヲ借リテ

「建造物或ハ繞圍ニ攀援シ其内ニ侵入スルヲ云フ但其高サニ「メートル」以上ノモノニ付テハ他人ノ幫助ヲ借ルヲナシ自身ニテ攀援シタル時亦同シ

第四項 人ノ通行ニ供セザル地下ノ坑道ヨリ侵入シタル者亦踰越ヲ以テ論ス

第四百三十五條

左ノ場合ニ於テハ贓物ノ種類ニ關スル盜罪トス

- 一 官有物ヲ其種類ヲ知ラズシテ盜取シタル時
- 二 鎖、鎖、輪環其他港口ニ於テ船舶ノ安全ニ供スル物品、燈明臺ノ燈籠、橋梁、道路ノ上ニ築造シタル物件及ヒ一般ノ防衛若クハ非常ノ變ニ備フル物件ヲ盜取シタル時
- 三 禮拜ニ供シタル物品ヲ其禮拜ノ爲メニ設ケタル場所又ハ其物品保存ニ供スル附屬ノ場所ニ於テ盜取シタル時

第四百三十六條

左ノ場合ニ於テハ場所ニ關スル盜罪トス

- 一 禮拜ノ爲メニ設ケタル場所ニ於テ其禮拜ニ供セサル物品ヲ盜取シタル時
- 二 牧場、田野、其他廐舎及ヒ人ノ住居シタル家屋ニ附屬セサル繞圍内ニ於テ獸類ヲ盜取シタル時

三 農工商業ノ用ニ供シ若シハ公衆ノ信用ニ委テタル公ケノ役務及ヒ事業ニ充ル諸器械物件ヲ盜取シタル時

四 田野、納屋ニ於テ土地ヨリ離レ又ハ堆積シタル生産物ヲ盜取シタル時

五 山林ノ樹木、池沼ノ植物、養魚場ノ魚類、蜜蜂巢ノ蜂子ヲ盜取シタル時

六 舟車、鐵道其他公ケノ運搬事業ニ關スル停車場ニ於テ旅客ノ金額物件ヲ盜取シタル時

七 埋葬地、墓所ニ於テ其裝飾又ハ防衛ニ供シ若クハ死屍ニ附着スル物件ヲ盜取シタル時

八 役所記録局其他公ケノ廐舎ニ於テ其監守又ハ保存スル物件ヲ盜取シタル時

九 裁判所ノ開廳中其訟廷ニ於テ盜罪ヲ犯シタル時

第四百三十七條

三人以上連合シテ盜罪ヲ犯シタルトキハ犯人ノ員數ニ關スル盜罪トス

第四百三十八條

第一項 前條ニ記載シタル盜罪ヲ犯シタル者ハ三年以上ノ禁錮ニ處ス

第二項 盜罪ヲ犯スニ當リ一ノ罪名ニ觸ルヘキ數多ノ情狀アルトキハ其刑ノ短期ヲ以テ處スルヲ得ス

第三項 盜罪ヲ犯スニ當リ二箇ノ罪名ニ觸レタルトキハ五年ノ禁錮ニ處ス

第四項 盜罪ヲ犯スニ當リ二箇ヨリ多キ罪名ニ觸レタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第五項 若シ贓物ノ價額五十「リール」ヲ超過セザルトキハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第四百三十九條

第一項 特殊ノ情狀ヲ有セザル盜罪ハ單一ノ盜罪ト爲シ四月以上三年以下ノ禁錮ニ處ス

第二項 若シ贓物ノ價額五十「リール」ヲ超過セザルトキハ本條ノ刑ニ一等ヲ減ス

第四百四十條

第一項 左ノ場合ニ於テハ本節ニ記載シタル盜罪ニ對シ公訴ヲ行ハザルモノトス

一 法律上離別セザル配偶者互ニ犯シタル時

二 尊屬、卑屬ノ血屬親及ヒ姻屬親又ハ父母養子互ニ犯シタル時

三 兄弟、姉妹及ヒ一家ニ同居スル二等以下ノ姻屬親互ニ犯シタル時

第二項 法律上離別シタル配偶者又ハ兄弟、姉妹及ヒ同等ノ姻屬親若クハ同居ノ叔伯父母

互ニ盜罪ヲ犯シタルトキハ單ニ其告訴ヲ俟テ處斷シ本刑ニ一等ヲ減ス

第三項 本條ノ規定ハ前數項ニ掲ケタル身分ヲ有セズシテ共ニ盜罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用セス

第四百四十一條

第一項 犯人逮捕狀ヲ發付スル前自ラ贓物ヲ返還シ又ハ其贓物ヲ返還スル能ハザルモ盜品

ノ全部ヲ賠償シタルトキハ本刑ニ二等ヲ減ス

第二項 若シ犯人逮捕狀發付ノ後ナルモ公判前自ラ其返還又ハ賠償ヲ爲シタルトキハ本刑

ニ一等ヲ減ス

第四百四十二條

第一項 本節ニ記載シタル刑ニハ特別監視ヲ附加スルモノトス

第二項 特別監視期限ハ特殊ノ情狀ヲ有スル盜罪又ハ再犯ニ該ルモノニ付テハ一年以上ト

ス

第二節 強盜、恐喝取財及ヒ要價略取ノ罪

第四百四十三條

左ノ場合ニ於テ盜罪ヲ犯シタル者ハ強盜トス

一 暴行又ハ身體財産ニ至重ナル損害ヲ加ヘントノ脅迫ヲ以テ財物ヲ所持スル者其他犯

罪ノ場所ニ現存セシ者ヲシテ其財物ヲ強テ己レニ交付セシメ又ハ之ヲ領取スルヲ

肯諾セシメタル時

二 盜罪ヲ犯スニ當リ又ハ之ヲ犯シタル後被盜人若クハ犯罪ノ場所ニ驅附ケタル者ニ對シ其罪ヲ成就シ又ハ贓物ヲ運搬シ若クハ自己或ハ他ノ共犯從犯ノ罪ヲ免カレシムル爲メ前段第一ニ記載シタル暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル時

第四百四十四條

第一項 強盜ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 強盜ヲ爲シ人ヲ殺サントシテ其殺人罪ノ効ヲ缺キ又ハ未ダ遂ケザル者若クハ故意ニアラズシテ人ヲ殺シタル者ハ徒刑ニ處ス

二 強盜ヲ爲シ第三百七十九條第一第二ニ記載シタル種類ノ創傷ヲ加ヘタル者ハ二十年ノ懲役ニ處ス

三 強盜ヲ爲シ第三百七十九條第三ニ記載シタル種類ノ創傷ヲ加ヘ又ハ兇器ヲ以テ生命ヲ害セント脅迫シ若クハ數人ニテ犯シ其内壹人ノミ顯ハニ兇器ヲ携帯シタルトキト雖モ十四年以上十六年以下ノ懲役ニ處ス其ノ一時ニテモ身體ヲ拘束シ又ハ第四百二十九條及ヒ第四百三十九條ニ掲ケタル情狀ノ一箇伴フ時亦同シ

四 總ヘテ其他ノ場合ニ於テハ八年以上十三年以下ノ懲役ニ處ス

第二項 贓物ノ價額五十リールニ過キザルトキハ第一項第三第四ニ記載シタル刑ニ一等

ヲ減ス

第四百四十五條

左ニ記載シタル者ハ恐喝取財ノ犯人トス

一 暴行脅迫ヲ以テ人ヲシテ強テ權利、義務及ヒ義務釋放ノ證書ヲ交付セシメ又ハ記載セシメ若クハ毀棄セシメテ其人或ハ第三者ヲ害シタル者

二 身體又ハ財産ニ至重ナル損害ヲ加ヘントノ恐怖ヲ懷カシメ又ハ記名(無名ノ投書或ハ使者ヲ以テ若クハ官署ノ命令ヲ矯メ或ハ官吏、公力吏員ノ服飾ヲ僭用シ人ヲシテ強テ金額、物件ヲ送付セシメ又ハ寄托セシメ若クハ己レノ用ニ供セシメタル者

第四百四十六條

第一項 第四百四十五條第一ニ記載シタル恐喝取財ノ罪ヲ犯シタル者ハ第四百四十四條強

盜ノ例ニ從ヒ其刑ニ處ス

第二項 第四百四十五條第二ニ記載シタル恐喝取財ノ罪ヲ犯シタル者ハ十三年以下ノ懲役ニ處ス若シ其損害高五十リール以下ナルトキハ二年以上ノ禁錮ニ處ス

第四百四十七條

人ヲ監禁シ其解放ノ報酬トシテ金額、物件又ハ義務ヲ得タル者ハ自己ノ爲メコシ又ハ自ラ

指名シタル他人ノ爲メニスルヲ分タス要償略取ノ罪ト爲ス其意思ヲ遂ケザル者亦同シ

第四百四十八條

第一項 要償略取ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 制縛、創傷若クハ苛刻ノ所爲及ヒ虐待ノ結果ニ因リ監禁セラレタル者ヲシテ死ニ至ラシメタルトキハ二十年以上二十五年以下ノ懲役ニ處ス
- 二 前段ニ記載シタル所爲ノ結果ニ因リ監禁セラレタル者ヲシテ第三百七十九條第一、第二、第三ニ掲ケタル種類ノ創傷ヲ負ハシメタルトキハ十七年以上二十年以下ノ懲役ニ處ス
- 三 其他總テノ場合ニ於テハ十六年以下ノ懲役ニ處ス

第二項 要償略取ヲ爲ス際監禁セラレタル者ニ對シ故意殺人ノ罪ヲ犯シタル者ハ徒刑ニ處ス其解放ノ償金ヲ要求セザル前ニ犯シタル時亦同シ

第三項 故意ヲ以テ要償略取ヲ實行スル爲メ口頭又ハ書面上ノ傳達ヲ爲シタル者ハ三年以上ノ禁錮ニ處ス

第四百四十九條

強盜恐喝取財及ヒ要償略取ノ罪ヲ犯シ其刑ニ處セラレ、者ハ三年以上ノ特別監視ニ付ス

第三節 押領ノ罪

第四百五十條

左ニ記載シタル者ハ押領ノ罪トス

- 一 擅ニ他人ノ不動産ヲ占領シ又ハ其全部或ハ幾分ヲ自己ノ所有ト爲シ若クハ利ヲ圖ル爲メ分界標ヲ變換移轉シタル者
- 二 當然權利ヲ有セス又ハ其權利外ニ於テ公私ノ水利ヲ變シ不正ニ自己ノ便益ヲ得タル者

第四百五十一條

第一項 押領ノ罪ヲ犯シタル者ハ四月以上一年以下ノ禁錮及ヒ二千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二項 身體ニ對スル暴行脅迫ヲ以テ又ハ數人ニテ本罪ヲ犯シ其内一人ノミ顯ハニ兇器ヲ携帯シ若クハ兇器ヲ携帯セザルモ數人ニテ犯シタルトキハ一年以上ノ禁錮及ヒ千「リール」以上四千「リール」以下ノ罰金ニ處ス但數罪俱發ノ例ニ從ヒ殺傷ノ刑ヲ科スルハ此外ナリトス

第四百五十二條

暴行ヲ以テ他人ノ不動産ニ關スル所有權ノ安全ヲ妨害シタル者ハ第二百二條ニ記載シタル罪ト爲ラサルニ於テハ前條ノ刑ニ處ス

第四節 背信ノ罪

第四百五十三條

名義ノ如何ヲ問ハス委託又ハ交付セラレテ返付若クハ一定ノ用途ニ充ツヘキ他人ノ物品ヲ擅ニ自己或ハ第三者ノ利益ニ供シタルトキハ背信ノ罪トス

第四百五十四條

第一項 背信ノ罪ヲ犯シタル者ハ被害者ノ告訴ヲ俟テ四月以上二年以下ノ禁錮及ヒ五百「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二項 其物品ノ額價千「リール」ヲ超過スルトキハ一年以上三年以下ノ禁錮及ヒ五百「リール」以上千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第三項 其物品ノ價額五十「リール」ヲ超過セザルトキハ三月以下ノ禁錮ニ處ス

第四百五十五條

第一項 他人ヨリ委託セラレテ返附若クハ一定ノ用途ニ充ツヘキ記名ノ白紙ニ其記名者ヲ害スルニ至ルヘキ事項ヲ自ラ記入シ又ハ人ヲシテ記入セシメタル者ハ被害者ノ告訴ヲ俟

テ前條第一項ノ刑ニ處ス

第二項 若シ記名ノ白紙ヲ委託セラレサル者其罪ヲ犯シタルトキハ文書偽造ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百五十六條

第一項 職業、工業、管理職務、使役ニ因テ委託セラレ又ハ交付セラレタル物品ニ付キ左ニ記載シタル諸人背信ノ罪ヲ犯シタルトキハ職權ヲ以テ三年以上ノ禁錮及ヒ二千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

- 一 私立銀行、商館及ヒ工業ニ關スル製造所ノ出納ヲ司トル者其他ノ役員犯シタル時
- 二 商業世話人、仲買人爲換賣買人犯シタル時
- 三 旅客及ヒ物品ノ運搬ニ關スル公ケノ事業ヲ營ム者及ヒ其雇員、職工ノ犯シタル時
- 四 必要品ヲ預ル者犯シタル時
- 五 官吏ノ資格ヲ有セザル公務吏員及ヒ附屬員第百七十七條ニ記載シタル監守盜ト爲ラザル場合ニ於テ犯シタル時
- 六 後見人、管財人、代言人、管理人犯シタル時
- 七 奴婢、職工犯シタル時

第二項 若シ其物品ノ價額千「リ」レヲ超過スルトキハ長期ヲ以テ禁錮ノ刑ヲ科シ且其罰金ニ一等ヲ加フ

第四百五十七條

第一項 背信ノ罪ヲ犯スニ當リ其損害高五十「リ」レヲ超過セザルトキハ前二條ニ記載シタル刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第二項 其損害高ノ分量ハ第四百二十九條第二項ノ例ニ照シテ之ヲ定ム

第三項 本罪ニ關スル公訴ヲ行ヒ及ヒ其刑ノ程度ヲ定ムルコト付テハ第四百四十條第四百四十一條ノ規則ヲ適用ス

第五節 詐欺取財ノ罪

第四百五十八條

偽計、奸策其他他人ノ信用ニ乘シテ詐欺ノ手段ヲ施シ人ヲ誑惑シテ自己又ハ他人ノ爲メニ不正ノ利益ヲ得因テ人ヲ害シタル者ハ詐欺取財ノ犯人トス

第四百五十九條

第一項 詐欺取財ノ罪ヲ犯シタル者ハ其告訴ヲ俟テ一年以上三年以下ノ禁錮及ヒ二千「リ」以下ノ罰金ニ處ス

第二項 左ノ場合ニ於テハ職權ヲ以テ三年以上ノ禁錮及ヒ千「リ」以上四千「リ」以下ノ罰金ニ處ス

- 一 詐欺取財ニ因リ生シタル損害高二千「リ」レヲ超過スル時
- 二 代言人、管理人其業務ヲ行フニ當リ詐欺取財ヲ犯シタル時
- 三 官署又ハ救恤院ノ利益ヲ害スヘキ詐欺取財ヲ犯シタル時
- 四 官印ヲ濫用、偽造、詐用シ若シハ商業ニ關スル記號、記號ヲ偽造、詐用シテ商品ノ原産性質、品柄ニ付キ人ヲ欺罔シ又ハ各種ノ物質、商品ニ正當ニ他ノ物質、商品ニ押用シタル官署ノ印章、記號ヲ移用シテ以テ詐欺取財ノ罪ヲ犯シタル時
- 五 人ヲシテ兵役ヲ免除セシムル爲メ詐欺取財ヲ犯シタル時

第四百六十條

不正ノ利益ヲ得ン爲メ自己ノ物件ヲ毀棄、損壞シ因テ第四百七十二條ニ記載シタル罪ト爲ラザルモノハ亦詐欺取財ノ罪ト爲シ前條ノ刑ニ處ス

第四百六十一條

第一項 幼者、治産ノ禁ヲ受ケタル者又ハ無能力者ナルコトヲ知テ其窮迫、情慾、不經驗ニ乘シ義務ノ證書、義務釋放ノ證書其他權利ノ證書ニ記名セシメテ之ニ害ヲ加ヘタル者ハ自

己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス第四百五十九條第一項ノ刑ニ處ス

第二項 其損害高二千「リール」ヲ超過スルトキハ第四百五十九條第二項ノ刑ニ處ス

第四百六十二條

職業及ヒ利益ノ爲メニ虛偽ノ事實并誣説ヲ以テ伊國人ヲ誘惑シ外國ニ移住セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論シ第四百五十九條第二項ノ刑ニ處ス

第四百六十三條

第一項 本節ニ記載シタル詐欺取財ヲ犯スニ當リ其損害高五十「リール」ヲ超過セザルトキハ前數條ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第二項 其損害ノ多寡ハ第四百二十九條第三項ノ刑ニ從テ之ヲ定ム

第三項 本罪ニ對スル公訴ヲ行ヒ及ヒ其刑ノ程度ヲ定ムルニ付テハ第四百四十四條及ヒ第四百四十一條ノ規則ヲ適用ス

第六節 違法占領ノ罪

第四百六十四條

左ニ記載シタル者ハ違法占領ノ犯人トス

一 他人ノ遺失シタル物件ヲ見出シ遺失物ノ所有權獲得ニ關スル民法上ノ規定ヲ遵守セ

ズシテ故ラニ之ヲ占領シタル者

二 埋藏物ヲ發見シテ擅ニ其土地ノ所有主ニ屬スヘキ股分ノ全部又ハ幾分ヲ占領シタル者

三 誤謬又ハ偶然ノ出來事ニ因リ占有シタル他人ノ物件ヲ詐取シタル者

第四百六十五條

第一項 違法占領ノ罪ヲ犯シタル者ハ其告訴ヲ俟テ一年以下ノ禁錮及ヒ五十「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二項 其損害高五十「リール」ヲ超過セザルトキハ前項ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第三項 損害ノ多寡ハ第四百二十九條第二項ノ例ニ從テ之ヲ定ム

第四項 本罪ニ對スル公訴ヲ行ヒ及ヒ其刑ノ程度ヲ定ムルニ付テハ第四百四十條及ヒ第四百四十一條ノ規則ヲ適用ス

第七節 贓物收受ノ罪

第四百六十六條

第一項 從犯ノ場合ニ在ラズシテ故意ヲ以テ犯罪ヨリ生スル金額、物件ヲ無報酬ニテ獲得、收受又ハ藏匿シタル者ハ其種類及ヒ情狀ヲ知ラザルトキト雖モ贓物收受ノ罪ト爲ス其金

額、物件ヲ獲得、收受又ハ藏匿セシムル爲メ媒介ヲ爲シタル者ト雖モ亦同シ而シテ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 死刑、徒刑、懲役ニ該ルヘキ犯罪ヨリ生スル物件ニ係ルトキハ三年以上ノ禁錮ニ處ス
- 二 總テ其他ノ場合ニ於テハ二年以下ノ禁錮ニ處ス但其物件ニ關スル犯罪ノ正犯ニ科スヘキ刑期ノ半ニ過シルコトナシ

第二項 前項ノ例ニ從テ贓物收受者ノ刑ヲ科スルニ付テハ其物件ニ關スル犯罪ノ正犯及ヒ從犯ノ刑ヲ免除、加重、減輕スヘキ身分ニ付テノ情狀ヲ酌量スルコトナシ

第四百六十七條

若シ犯人贓物ノ收受又ハ其媒介ヲ常業トスル者ナルトキハ前條ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ加ヘ且監視ヲ附加ス

第八節 放火、決水、及ヒ覆没ノ罪

第四百六十八條

第一項 人ノ住居シ又ハ住居ニ供シタル家屋、禮拜及ヒ公ケノ集會ニ充テタル建造物、官署、官ノ記録局、書籍館、學術、文藝、技術上ノ物品ヲ公ケニ陳列スル場所、救恤院、鐵道停車場、造船場、武庫其他燃質、破裂質ノ物品ヲ貯藏スル場所又ハ是等ノ附屬物ニ故ラニ火ヲ放チタル者ハ放火ノ罪ト爲シ十一年以上十六年以下ノ懲役ニ處ス

第二項 人ヲ乗載セザルモ軍艦又ハ軍用ノ運送船其他ノ船舶、渡船、磨機、浴場其他水泳場若クハ第一項ニ記載シタル物品又ハ人ヲ乗載シタル鐵道ノ列車ニ火ヲ放チタル者ハ前全一ノ刑ニ處ス

第三項 第一項ノ効力ニ付テハ第四百三十二條第二、第三項ニ記載シタルモノヲ以テ人ノ住居シ又ハ住居ニ供シタル建造物及ヒ其附屬物ニ準ス

第四百六十九條

左ニ記載シタル放火ノ犯人ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

- 一 人ノ住居セズ又ハ住居ニ供セザル他人ノ家屋若クハ集會ノ時間外ニ於テ公ケノ集會ニ供シタル場所ニ火ヲ放チタル者
- 二 前條ニ記載シタル以外若クハ製造中ノ船舶、工業ノ製作場、公衆ノ用ニ供スル橋梁又ハ商品貯藏所ニ火ヲ放チタル者
- 三 礮坑、噴水器又ハ焚燒スヘキ物件ノ堆積シタルモノニ火ヲ放チタル者
- 四 山林、葡萄樹、ナリ、ブ、樹其他ノ樹木及ヒ土地ニ附着シタル田野ノ生産物ニ火ヲ放チタル者

五 藁草、肥料其他土地ヨリ離レテ前條ニ記載シタル以外ノ場所ニ收納シタル田野ノ生産物ニ火ヲ放チタル者

第四百七十條

第一項 放火ヨリ生シタル損害高五百「リール」ヲ超過セザルトキハ前數條ニ記載シタル刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第二項 放火ノ犯人悔悟ノ念ニ因リ自ラ其消防ニ盡力シテ損害高ヲ百「リール」以下ニ止メタルトキハ第四百六十八條及ヒ第四百六十九條ノ刑ニ二等又ハ三等ヲ減ス

第四百七十一條

第一項 官命ニ抗抵シ又ハ公然暴行ニ訴ヘ若クハ亂妨、劫掠ヲ爲スニ際シ火ヲ放チタル者ハ十七年以上二十年以下ノ懲役ニ處ス

第二項 火ヲ放チ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 人ヲ殺スノ意ヲ以テ其放火ヲ爲シタル者ハ徒刑ニ處ス
- 二 人ヲ殺スノ意ナキモ其放火ノ所爲ニ因リ豫知スヘキ場合ニ於テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二十年ノ徒刑ニ處ス

第三項 放火ノ爲メ豫知スヘカラザル場合ニ於テ人ヲ死ニ致シ又ハ第三百七十九條第一、

第二、第三ニ記載シタル創傷ヲ加ヘタルトキハ第四百六十八條及ヒ第四百六十九條ノ刑ニ一等ヲ加フ

第四百七十二條

第四百六十八條及ヒ第四百六十九條ニ掲ケタル種類ノ自己ノ建造物、物件ニ火ヲ放チ同種類ナル他人ノ建造物、物件ヲ害シ又ハ人命ヲ危カラシメタル者之ヲ豫知シ得タルトキハ亦放火ノ犯人ト爲シ本節ニ記載シタル例ニ照シテ處斷ス

第四百七十三條

第一項 前數條ニ記載シタル建造物、物件ヲ崩壞スルノ目的ヲ以テ礦坑、水雷火、其他爆發器械及ヒ燃燒質物ヲ破裂セシメタル者ハ亦放火罪ヲ以テ論ス

第二項 放火ノ既遂罪トハ犯人火ヲ放ツノ際其燒燬セント欲スル物件其他接續シ延燒スルヲ得ヘキ物件ニ其火ノ移リタル時ヲ云フ

第四百七十四條

第一項 疎虞懈怠ニ因リ又ハ犯罪ノ目的ニ出テザルモ偶然ニアラザル昏醉若クハ技術職業上ノ不熟練或ハ規則、懲戒ヲ遵守セザルニ因リ火ヲ失シタル者ハ有罪失火ノ罪ト爲シ四月以上二年以下ノ囚獄及ヒ二千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二項 失火ノ爲メ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ數罪俱發ノ例ニ從ヒ本刑ノ外ニ故意殺傷ノ刑ヲ科ス

第四百七十五條

第一項 如何ナル方法ニ據ルチ問ハス故意ヲ以テ決水セシメタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 人ヲ殺スノ目的ヲ以テ決水セシメタル者ハ徒刑ニ處ス

二 人ヲ殺スノ意ナキモ豫知スヘキ場合ニ於テ決水ノ爲メ人ヲ死ニ致シタル者ハ二十年ノ懲役ニ處ス

三 豫知スヘカラザル場合ニ於テ決水ノ爲メ人ヲ死ニ致シ若クハ第三百七十九條第一ニ記載シタル創傷ヲ加ヘタル者ハ十一年以上十六年以下ノ懲役ニ處ス

四 其他總テノ場合ニ於テ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二項 犯罪ヨリ生シタル損害高五百「リール」ヲ超過セザルトキハ前項第四ニ記載シタル刑ニ一等ヲ減ス

第三項 第四百七十條第二項ノ規則ハ本罪ニモ亦之ヲ適用ス

第四百七十六條

第一項 人ト共謀シテ暗礁、淺瀬其他海上ヲ瞻望スヘキ場所ニ點火シ又ハ燈明臺其他ノ標目ヲ毀壞、轉移シ若クハ其用ヲ缺カシメ其他偽計ヲ用ヒテ船舶ヲ危險ニ陷レシメントシタル者ハ五年ノ禁錮ニ處ス

第二項 前項ノ所爲ニ因リ船舶ヲシテ難破セシメタル者ハ十五年以下ノ懲役ニ處シ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二十年ノ懲役ニ處ス

第四百七十八條

第四百七十五條、第四百七十六條、第四百七十七條ニ記載シタル所爲ニ因リ第四百七十四條ニ掲ケタル事項ヲ生シタルトキハ該條ノ規則及ヒ刑ヲ適用スルモノトス

第九節 損壞ノ罪

第四百七十九條

第一項 他人ノ動産、不動産ヲ毀壞、殘害、損傷シタル者ハ其至重ノ罪ト爲ラザルニ於テハ其告訴ヲ俟テ左ノ如ク處斷ス

- 一 其損害高千「リール」ヲ超過セザルトキハ三月以下ノ囚獄ニ處ス
- 二 其損害高千「リール」ヲ超過スルモ五千「リール」以下ナルトキハ三月以上一年以下ノ囚獄ニ處ス

三 其損害高五千「リ」レヲ超過スルトキハ一年以上ノ囚獄ニ處ス

第二項 其他總テノ場合ニ於テハ囚獄ノ刑ニ附加スルニ其損害高ニ等シキ罰金ヲ以テス
但其刑ノ法律上ノ最上限ヲ超過セサルヲ要ス

第四百八十條

左ノ場合ニ於テ損壞ノ罪ヲ犯シタル者ハ前條ニ記載シタル繫獄ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ加ヘ且囚獄ニ代フルニ禁錮ヲ以テス

- 一 証言又ハ鑑定上ノ事件ニ關シ其證人、鑑定人ニ對シ又ハ現ニ執行シ或ハ既ニ罷メタル職務上ノ事件ニ關シ官吏、陪審員ニ對シ報復ノ爲メニ犯シタル時
- 二 至重ノ罪ト爲ラザル所ノ身體ニ對スル暴行ヲ以テ犯シタル時及ヒ第四百三十四條ノ明文ニ從ヒ踰越、損壞、偽造ヲ以テ犯シタル時
- 三 政府、州邑ニ附屬シ及ヒ公共ノ使用ニ供スル建築物、物件ニ對シ犯シタル時
- 四 禮拜ニ供スル建築物及ヒ墓所并其附屬物ニ對シ犯シタル時
- 五 公ケノ記念碑、家屋其他慈惠、信用上ノ施設ニ屬スル建築物ニ對シ犯シタル時
- 六 造船所、武庫ニ對シ犯シタル時
- 七 堤防其他公ケノ防禦及ヒ變災ニ備フル物件ニ對シ犯シタル時

八 溝渠其他灌溉ニ供スル土工ニ對シ犯シタル時

第四百八十一條

擅ニ他人ノ土地ニ獸類ヲ引入レ又ハ之ヲ放テテ損害ヲ加ヘタル者ハ亦損壞ノ罪ト爲シ第四百七十九條及ヒ第四百八十條ノ例ニ從テ處斷ス但第四百七十九條ノ刑ヲ科スル場合ニ於テハ被害者ノ告訴アルニ非サレハ處斷セザルモノトス

第四百八十二條

電信機及ヒ電信線ヲ損壞シ其他電信ヲ不通ニ致シタル者ハ四月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

第四百八十三條

鐵道及ヒ其運轉ニ供スル器械、列車其他ノ物件ヲ損壞シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 人ヲ殺スノ意ヲ以テ損壞シタル者ハ徒刑ニ處ス
- 二 人ヲ殺スノ意ナキモ損壞ノ所爲ニ因リ豫知スヘキ場合ニ於テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二十年ノ懲役ニ處ス
- 三 豫知スヘカラザル場合ニ於テ人ヲ死ニ致シ又ハ第三百七十七條第一ニ記載シタル創傷ヲ加ヘタル者ハ十一年以上十六年以下ノ懲役ニ處ス
- 四 若シ犯人其他ノ創傷ヲ加ヘ又ハ人ノ生命及ヒ健康ヲ危殆ナラシメ或ハ其所爲ニ因リ

第四百七十九條第一項第三ニ記載シタル金額ヲ超過スル損害ヲ與ヘタルトキハ十一年以下ノ懲役ニ處ス

五 其他總テノ場合ニ於テハ三年以上ノ禁錮ニ處ス

第四百八十四條

第一項 運轉中ノ瀛車ニ對シ瓦礫放出物ヲ投擲シ又ハ鐵道ニ物件ヲ置キテ其往來ヲ妨ケ虚偽ノ相圖ヲ爲シ其他ノ方法ヲ以テ運轉ヲ危フシタル者ハ其鐵路、機關、列車ヲ損壞セザルモ一年以上ノ禁錮ニ處ス

第二項 第一項ニ記載シタル所爲ニ因リ現ニ損害ヲ生シタルトキハ前條ノ規則及ヒ刑ヲ適用ス

第四百八十五條

第四百八十三條及ヒ第四百八十四條ニ記載シタル所爲ニ因リ第四百七十四條ニ掲ケタル事項ヲ生シタルトキハ該條ノ規則及ヒ刑ヲ適用ス但鐵道、電信ニ關スル官吏及ヒ之ニ附屬スル者自ラ前數條ノ罪ヲ犯シタルトキハ本刑ニ一等ヲ加フ

第四百八十六條

劫掠、毀壞、亂妨ヲ以テ本節ニ記載シタル罪ヲ犯シ又ハ官吏ニ暴行、抗抵ヲ爲スノ際若クハ拾

人以上連合シテ其罪ヲ犯シタルトキハ總ヘテ其犯罪ニ與ミシタル者ニ對シ前二條ニ記載シタル刑ニ一等又ハ二等ヲ加ヘタルモノヲ科ス

第二編 警察罰例

違警罪及ヒ其刑罰

總則

第四百八十七條

違警罪ハ犯人ニ於テ法律ニ違背スルノ意思アリシヲ證明セラレザル時ト雖モ特ニ法律ニ規定シタル場合ヲ除クノ外ハ之ヲ罰ス

第四百八十八條

違警罪ノ刑ニ特別監視ヲ附加スヘキ場合ハ法律ニ於テ之ヲ定ム但其監視期限ハ一月ヨリ一年マテヲ科スルヲ得而シテ警察令ヲ以テ之ヲ定ム

第四百八十九條

違警罪ノ主體タル物件及ヒ之ヲ犯スノ用ニ供シタル器械ハ之ヲ沒收ス但使用、攜帶、貯藏ヲ禁セザル物件ニ付テハ裁判官ハ其沒收ヲ免除スルヲ得

第四百九十條

違警罪ハ既遂犯ニアラザレハ之ヲ罰セズ

第四百九十一條

第一項 違警罪ノ刑ヲ受ケタル日又ハ其刑ノ消滅シタル日ヨリ一年内ニ再ヒ全一ノ違警罪ヲ犯シタル者ハ再犯トス

第二項 違警罪ノ再犯ハ通常ノ刑ヲ以テ之ヲ罰ス但其刑ノ短期ニ處スルヲ得ス

第三項 此規則ハ法律ニ於テ別段ニ規定シタル場合ニ之ヲ適用セズ

第四百九十二條

第一項 父母、後見人、師匠、主人ハ民法ニ據テ負擔スヘキ損害賠償ノ外其子、幼者、弟子、僕婢ノ犯シタル違警罪科料ノ効力ニ付キ必ス其責ニ任スルモノトス但之ヲ防止スルニ必要ナル監督ヲ爲シタル場合ハ此限ニアラス

第二項 主人及ヒ委任者自ラ行フヘキ職務ヲ其僕婢代理人ニ委任シタル場合ニ於テ其僕婢代理人該職務ヲ行フニ當リ犯シタル違警罪科料ノ効力ニ付テハ其責ニ任スルモノトス

第三項 若シ主人及ヒ委任者緊要ノ資格ヲ有セス又ハ不適當ナルヲ知ル所ノ者ヲ用ヒテ

其職務ヲ行ハシメタルトキハ亦科料ノ効ニ付キ其責ニ任スルモノトス

第四百九十三條

法律ニ違背スル繼續ノ所爲ヲ以テ違警罪ヲ犯シタル者ハ其所爲ノ止ミタル日ヨリ公訴ノ期滿免除ヲ起算ス但裁判官ハ違警罪犯人ノ負擔ニ於テ何時ニテモ之ヲ止メシムルヲ得

第一章 公ケノ秩序ニ關スル違警罪

第一節 官命ニ從フヲ拒ム罪

第四百九十四條

第一項 左ニ記載シタル者ヲ以テ違警罪犯人トス

- 一 多衆集合スルニ當リ當該官署ヨリ正當ニ解散スヘキノ命令ヲ受ケテ之ニ從ハサル者
- 二 一般ノ安寧又ハ裁判ノ爲メ當該官署ヨリ一定ノ場所ニ居在シ若クハ之ヲ通過スヘカラサルノ命令ニ違背シタル者

第二項 前項第一ノ場合ニ於テハ犯人チ一月以上三月以下ノ拘留、第二ノ場合ニ於テハ一月以下ノ拘留ニ處ス

第四百九十五條

第一項 躁闘、劫掠、抗拒、盜難、火災、難船、洪水其他非常ノ變ニ際シ若クハ人ノ現行犯ニ遭遇

シ又ハ官署ノ命令及ヒ裁判上ノ處分ヲ行フニ當リ正當ノ事由ナクシテ救助ヲ爲サズ又ハ官吏ヨリ求メラレタル通報及ヒ告知ヲ爲スヲ肯ンセザル者ハ他ノ罪ト爲ラザルニ於テハ科料ニ處ス

第二項 前項ニ掲ケタル場合ニ於テ官吏ノ處置又ハ其職務ニ關シ與ヘタル裨助ヲ公然非難シ若クハ他人ヲ煽動シテ之ニ違背セシメタル者ハ亦全一ノ刑ニ處ス

第四百九十六條

官吏公力吏員ノ職務ヲ行フニ當リ其吏員ニ對シ自己ノ姓名、身分、職業、出生及ヒ本籍ノ地其他一身上ノ關係ヲ申述スルヲ拒ミ若クハ虛偽ノ申述ヲ爲シタル者ハ十五日以下ノ拘留ニ處ス

第二節 官署ニ申告セサル罪

第四百九十七條

第一項 七歳以下ノ幼者其他身體若クハ精神上ノ病患ニ因リ自ラ生活スル能ハサル者ノ遺棄又ハ迷失セラレタルヲ知テ直チニ官吏ニ報告セサル者ハ五十「リトレ」以上ノ科料ニ處ス

第二項 死屍又ハ變死人、負傷者其他危難ニ遭遇シタル者ヲ發見シテ直チニ官吏ニ申告セ

サル者ハ前全一ノ刑ニ處ス

第三節 官職ヲ詐稱スル罪

第四百九十八條

第一項 正當ノ許可ナクシテ公然官吏ノ服飾、徽章ヲ僭用シ又ハ學士ノ等級、貴號、名譽章及ヒ官職ヲ詐稱シタル者ハ百「リトレ」以上ノ科料ニ處ス若シ犯人其刑ノ執行ヲ終ヘ若クハ消滅シタル日ヨリ一年內ニ再ヒ全一ノ違警罪ヲ犯シタルトキハ十六日以上一月以下ノ拘留ニ處ス

第二項 裁判官ニ於テハ本刑ヲ科スルノ外其指定スル所ノ新聞紙ニ該裁判宣告書ヲ掲載セ

シメ犯人ヲシテ其費用ヲ負擔セシムルヲ得

第四節 揭示、公告ヲ毀損スル罪

第四百九十九條

日出ヨリ夜ノ一時間迄ニ法律、裁判宣告書、公達其他官署ノ命令若クハ官許ヲ得テ人民ノ公然揭示シタル廣告ヲ除去、毀棄、損壞シタル者ハ十五日以下ノ拘留ニ處ス若シ法律又ハ官府ヲ誹毀スルノ意ヲ以テ其所爲ニ出テタルトキハ十六日以上一月以下ノ拘留ニ處ス

第五節 法ニ背キテ刊行、公布ヲ爲スノ罪

第五百條

第一項 豫メ地方警察官ニ營業ノ場所、所有主又ハ代理人ノ姓名ヲ届出スシテ公然活版、石版、其他印刷ノ業ヲ營ミタル者ハ百「リール」以上ノ科料ニ處ス但出版條例ニ於テ規定シタルモノヲ適用スルノ障礙トナルコトナシ

第二項 若シ秘密方法ヲ以テ前項ニ記載シタル業ヲ營ミタル者ハ其活版、活字其他ノ印刷器械ヲ没收スルノ外四月以上六月以下ノ拘留及ヒ三百五十「リール」以上五百「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第三項 活字、活版、印刷器械、石版、白堊彫刻術其他圖畫ヲ以テ復寫スルノ術ニ關スル器械ヲ密カニ保持シタル者ハ八日以上三月以下ノ拘留及ヒ五十「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第五百一條

第一項 印刷手段其他ノ方法ヲ以テ刑事ノ訴訟ニ關スル書類又ハ辯論筆記ヲ其裁判宣告前ニ頒布シタル者ハ八日以上一月以下ノ拘留及ヒ百「リール」以上ノ科料ニ處ス

第二項 其裁判宣告ノ後ト雖モ左ノ書類ヲ散布シタル者ハ亦全一ノ刑ニ處ス

一 事實ノ證明ヲ許サ、ル場合ニ於テ誹毀、譏謗、罵詈ニ關スル刑事ノ訴訟書類又ハ辯論

筆記

二 傍聽ヲ禁シタル事件ノ辯論筆記

三 公庭ニテ朗讀シタル刑事ノ訴訟書類

第五百二條

前條ニ記載シタル場合ノ外ニ於テ刑事ノ訴訟書類、辯論筆記及ヒ裁判宣告書ヲ登録スル印刷物ヲ其事件ヲ審理シタル裁判所檢察官ノ別段ナル許可ヲ得ルコトナシ街路其他公ケノ場所ニ於テ頒布シタル者ハ科料及ヒ十五日以下ノ拘留ニ處ス

第五百三條

第一項 如何ナル印刷物圖畫、手書ト雖モ警察官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ街路其他公ケノ場所ニ於テ之ヲ貼示又ハ展示スルコトヲ許サス違フ者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處ス

第二項 前項ノ規則ハ商業取引、販賣、賃貸ニ關スル書類及ヒ印刷物ニ之ヲ適用ス

第五百四條

當該官署ニ於テ印刷物又ハ圖畫ノ差押保管ヲ命シタル後之ヲ頒布シタル者ハ八日以上一月以下ノ拘留及ヒ五十「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第五百五條

印刷手段ヲ以テ裁判言渡確定シタル書類、印刷物又ハ圖畫ヲ刊行シタル者ハ八日以上一月以下ノ拘留ニ處ス

第五百六條

第一項 印刷手段ヲ以テ裁判所ノ等級如何ニ拘ハラズ其刑事辯論ヲ記載スルニ當リ陪審員ノ姓名、該員及ヒ裁判官各自ノ議論及ヒ投票ヲ公ケニシタル者ハ十五日以下ノ拘留及ヒ百「リール」以上ノ科料ニ處ス但本刑ハ各別ニ之ヲ科スルコトヲ得

第二項 印刷手段ヲ以テ元老院又ハ代議士院ノ秘密議事ヲ其院ノ許可ヲ得スシテ公ケニシタル者ハ前全一ノ刑ニ處ス

第六節 職業、免狀、旅券、及ヒ宿泊營業者ニ關スル罪

第五百七條

第一項 地方警察官ヨリ特ニ免狀ヲ付與セララル、ニ非サレハ一切ノ職業及ヒ露店、街頭ノ營業ヲ行フコトヲ許サス但其職業中ニハ印刷物又ハ圖畫ヲ販賣スル者、船手、御者、脚夫、雇人ヲ包含スルモノトス

第二項 前項ノ規則ニ違フ者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處ス但全一ノ違警罪再犯ノ場合ニ於テハ十六日以上一月以下ノ拘留ニ處ス

第五百八條

新聞紙其他印刷物ヲ販賣又ハ配達スル者道路ニ於テ一般ノ安寧又ハ靜謐ヲ妨害スヘキ風説ヲ流布シ及ヒ高聲ニテ之ヲ叫告シタル者ハ十五日以下ノ拘留ニ處ス若シ其風説ニシテ虛偽、假想ノ事實ニ係ルトキハ一月以下ノ拘留ニ處スルコトヲ得

第五百九條

第一項 出版條例ニ從ヒ當該官署ニ納本ヲ爲シタルヨリ二時間ヲ經過セサル前ニ公ケノ場所ニ於テ印刷物又ハ圖畫ヲ販賣、配付、陳列シタル者ハ八日以上十五日以下ノ拘留ニ處ス但新聞紙其他定期印刷物ニ付テハ其納本ヲ爲シタル時ヨリ自由ニ遞送、配達スルヲ得ルモノトス

第二項 前項ニ記載シタル印刷物又ハ圖畫ハ之ヲ沒收ス

第五百十條

第一項 當該官署ヨリ免狀ヲ受ケス若シハ其免狀ニ定メタル一般又ハ特別ノ條件ニ違背シテ咖啡店、旅店、酒店、球場ノ營業ヲ爲シタル者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處ス
第二項 若シ其免狀ノ無効ニ屬シ又ハ奪取セラレタル後該營業ヲ爲シタル者ハ十五日以下ノ拘留ニ處ス

第三項 本條ニ掲ケタル違警罪ヲ再ヒ犯シタル者ハ十六日以上三月以下ノ拘留ニ處ス
第五百十一條

前數條ニ記載シタル營業者當該官署ヨリ定メタル時間外ニ其店舗ヲ開キテ營業ヲ爲シタルトキハ五十「リール」以下ノ科料ニ處シ再犯ノ場合ニ於テハ仍ホ十五日以下ノ拘留ニ處ス
第五百十二條

地方警察官ノ免狀ヲ得スシテ商業ノ爲メニ宿泊ノ營業ヲ爲シタル者ハ五十「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス但其免狀ノ無効ニ屬シ又ハ奪取セラレタル後ニ係ルトキハ十五日以下ノ拘留ニ處ス

第五百十三條

第一項 官許ヲ得タル宿泊營業者ハ規則ニ定メタル手續ニ從ヒ連日正午ニ宿泊人ノ來着ヲ官ニ届出ルヲ要ス之ニ違フ者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處シ再犯ノ場合ニ於テハ其科料ニ加ヘテ一月以上三月以下ノ期間間營業停止ノ刑ヲ言渡スヲ得

第二項 宿泊ノ營業ヲ爲ス者宿泊人ノ姓名ヲ帳簿ニ記載セス又ハ規則ニ定メタル以外ノ程式ニ從ヒ之ヲ其帳簿ニ記載シタルトキハ百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第三項 前項ニ掲ケタル帳簿ヲ地方警察官ノ求メニ依リ其點檢ニ供セサル者ハ同一ノ刑ニ

處ス

第五百十四條

第一項 第五百十三條ニ記載シタル營業者ノ止宿人姓名、身分ヲ詐稱シタルトキハ十五日以下ノ拘留及ヒ百「リール」以上ノ科料ニ處ス

第二項 若シ犯人無産浮浪者ニシテ既ニ財産ニ對スル罪ニ依リ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレタルトキハ一月以上ノ拘留ニ處ス

第五百十五條

第一項 宿泊ノ營業ヲ爲ス者故ラニ宿泊人ノ虚偽ノ姓名、身分ヲ帳簿ニ記載シ又ハ届出タルトキハ十六日以上三月以下ノ拘留ニ處シ若シ同一ノ違警罪ヲ再ヒ犯シタル場合ニ於テハ十五日以上ノ期間間營業停止ノ刑ヲ附加ス

第二項 犯人拘留ノ刑ヲ受ケタルトキハ當然其營業ヲ停止ス但其期限ハ該刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ消滅シタル後ニ非サレハ之ヲ起算セサルモノトス

第五百十六條

二名以上ノ證人ニ於テ姓名、身分ヲ保證スル場合ノ外官吏其知ラサル者ニ旅券、兵卒ノ路票、滯留券及ヒ免狀ヲ交付シタルトキハ百「リール」以上ノ科料ニ處ス

第七節 貨幣及ヒ紙幣ニ關スル罪
第五百十七條

善意ヲ以テ貨幣及ヒ紙幣ニ准スル證券ヲ受取ルニ當リ其偽造又ハ變造タルヲ認メタル者ハ
二日間ニ其出所ヲ示シテ警察官ニ之ヲ交付スヘシ違フ者ハ其貨幣價額ノ二倍ニ等シキ科
料ニ處ス但該價額ハ第三十六條ニ定メタル寡數以上多數以下タルヲ要ス

第五百十八條

内國ニ於テ適法ノ通用ヲ有スル貨幣又ハ貨幣ニ准シ命令若クハ適法ノ通用ヲ有スル内國ノ
貨幣ヲ受取ルコトヲ肯シセサル者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處ス

第八節 劇場及ヒ觀物場ニ關スル罪

第五百十九條

第一項 公ケノ場所又ハ公衆ノ爲メニ開キタル場所ニ於テハ地方警察官ノ許可ヲ得ルニ非
サレハ代價ヲ拂ハシムルト否トニ拘ハラズ演劇其他ノ狂言ヲ催フスコトヲ許サス
第二項 前項ノ規則ニ違フ者ハ其演劇狂言每ニ科料ヲ以テ之ヲ罰ス
第三項 官ノ禁止ニ背キテ演劇其他ノ狂言ヲ催フシタル者ハ科料ニ代フルニ一月以下ノ拘
留ニ處ス

第五百二十條

學校又ハ學藝上ノ會院ニ於テ教誨若クハ娛樂ノ爲メニ催フシタル演劇ハ外人ノ入觀ヲ許シ
タル時ト雖モ前項規則ヲ遵守スルノ限ニアラス

第五百二十一條

第一項 公ケノ場所又ハ公衆ノ爲メニ開キタル場所ニ於テハ地方警察官ノ許可ヲ得ルニ非
サレハ代價ヲ拂ハシムルト否トニ拘ハラズ舞踏會ヲ催フスコトヲ許サス
第二項 前項ノ規定ニ違フ者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處ス但官ニ於テ禁止シタル舞踏
會ニ係ルトキハ五十「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第五百二十二條

第一項 公ケノ場所又ハ公衆ノ爲メニ開キタル場所ニ於テ警察規則ニ定メタル時間ト條件
トヲ遵守スルニ非サレハ假面ヲ用ユルコトヲ許サス
第二項 前項ノ規定ニ違フ者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處シ全一ノ違警罪ヲ再ヒ犯ス場
合ニ於テハ一月以下ノ拘留ニ處ス

第五百二十三條

第五百二十二條、第五百二十三條、第五百二十四條ニ規定シタル場合ヲ除クノ外地方警察官

ノ許可ヲ得スシテ遊戯ノ爲メニ家屋ヲ公衆ノ用ニ供シタル者ハ五十「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第二章 一般ノ安寧ヲ害スル違警罪

第一節 無産及ヒ浮浪ノ罪

第五百二十四條

第一項 無産ニシテ營生ノ道ナキ者警察規則ニ從ヒ恒産ニ就キ及ヒ職業、技術ヲ行フヘキノ告諭ニ背キテ其業ニ就カサルトキハ三月以下ノ拘留ニ處ス

第二項 無産ノ爲メ刑ニ處セラレタル者其刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ消滅シタル日ヨリ二年内ニ再ヒ同一ノ違警罪ヲ犯ストキハ三月以上ノ拘留ニ處ス

第三項 前二項ノ規則適用上警察官ノ告諭ハ之ヲ加ヘタル日ヨリ二年間有効ノモノトス但全一ノ期限内無産ノ爲メ科セラレタル刑ノ執行ヲ終ヘ若クハ消滅シタル日ヨリ再ヒ之ヲ起算スルモノトス

第五百二十五條

第一項 十六歳未満ノ無産者ニ刑ヲ科セスト雖ヒ裁判官ニ於テ父母若クハ後見人ニ之ヲ引渡シ及ヒ其父母、後見人ニ之カ教育ヲ與ヘ並ニ行狀ヲ監察スルヲ命スヘシ但其命ヲ違

守セサル者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處ス

第二項 幼者ノ産業ニ就クテ欲セス又ハ父母、後見人ヲ有セス若クハ其父母、後見人ノ前項ニ掲ケタル命令ヲ實行スルヲ能ハサルトキハ裁判官ニ於テ十八歳ニ過キサル時間其幼者ヲ學校、授産場又ハ農業服役場ニ入レ職業、技術ヲ修習セシムルノ處分ヲ行フ

第五百二十六條

第一項 營生ノ道ナク若クハ自活スルニ足ルヘキ職業、技術ヲ行ハサル者定リタル住居ナクシテ諸方ニ徘徊スルトキハ浮浪ノ罪トス

第二項 浮浪ノ罪アル者警察規則ニ從ヒ加ヘタル告諭ニ違フトキハ一月以上三月以下ノ拘留ニ處ス

第三項 浮浪ノ罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者其刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ消滅シタル日ヨリ二年内ニ再ヒ全一ノ違警罪ヲ犯ストキハ三月以上ノ拘留ニ處ス

第四項 第五百二十四條第三項及ヒ第五百二十五條ノ規則ハ浮浪者ニモ亦之ヲ適用ス

第五百二十七條

第一項 無産浮浪ノ罪ニ依リ刑ニ處スルトキハ必ス特別監視ヲ附加ス

第二項 外國人此罪ヲ犯シタルトキハ前數條ノ刑ニ處スルノ外王國外追放ノ刑ヲ附加ス

第二節 乞丐及ヒ法禁ノ贖金ヲ爲スノ罪

第五百二十八條

第一項 特別ノ法律、規則ニ從ヒ許可ヲ得スシテ乞丐ヲ爲ス者ハ一月以下ノ拘留ニ處ス

第二項 許可ヲ得ルモ兇器ヲ携帯シ又ハ二人以上合同シ若クハ夜間一時後ニ乞丐ヲ爲ス者、人ノ家宅内ニ侵入シ或ハ暴行、逼取ノ手段ヲ用ヒテ乞丐ヲ爲シ又ハ身體ノ不具及ヒ貧困ノ證書ヲ自ラ偽造シ又ハ他人ニ交付シ或ハ疾病、罹災ヲ伴リ及ヒ身體ノ創傷、殘毀、廢疾ヲ示シテ恐怖、哀憐ノ情ヲ發セシメ若クハ己レニ屬セサル嬰兒ヲ持シテ乞丐ヲ爲シタル者ハ前全一ノ刑ニ處ス

第三項 許可ヲ得スシテ前項ニ掲ケタル條件ニ從ヒ乞丐ヲ爲シタル者ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第五百二十九條

十六歳未滿ノ幼者ヲ監督スル者ヲシテ乞丐ヲ爲サシメ若クハ他人ニ之ヲ付托シテ乞丐ヲ爲サシメタルトキハ一月以上三月以下ノ拘留ニ處ス

第五百三十條

前二條ニ記載シタル拘留ノ刑ニハ特別監視ヲ附加スルヲ得但外國人ニ付テハ第五百二十七條第二項ノ規則ヲ適用スルモノトス

第五百三十一條

第一項 刑事裁判ニ關スル保證金ノ損失ヲ補ヒ及ヒ罰金、科料、賠償ヲ辨濟スルノ目的ヲ以テ金額ヲ醵集シタル者ハ一月以下ノ拘留及ヒ百「リール」以上ノ科料ニ處ス

第二項 醵集シタル金額ハ之ヲ沒收ス

第三節 賭博ノ罪

第五百三十二條

第一項 公ケノ場所又ハ公衆ノ爲メニ開キタル場所ニ於テ賭場開張シタル者及ヒ其幫助ヲ爲シタル者ハ百「リール」以上ノ科料及ヒ一月ノ拘留ニ處ス但富籤ニ關スル法律ヲ以テ規定シタルモノハ此限ニ在ラス

第二項 若シ犯人其刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ消滅シタル日ヨリ五年内ニ再ヒ同一ノ違勲罪ヲ犯シタルトキハ一月以上三年以下ノ拘留及ヒ百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第三項 第一項ニ掲ケタル賭場ニ於テ博奕ヲ爲シタル者ハ百「リール」以下ノ科料ニ處シ再犯ノ場合ニ於テハ一月以下ノ拘留ニ處ス

第五百三十三條

第一項 第五百三十二條第一項ニ記載シタル違勲罪ノ犯人賭場ヲ開張シ及ヒ其幫助ヲ爲ス

ヲ常業トスルトキハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ加フ但同條第二項ニ掲ケタル情狀俱發スルトキハ三月以上ノ拘留及ヒ百「リ」以上ノ科料ニ處ス

第二項 旅店、咖啡店、其他類似ノ營業ヲ爲ス者賭場ヲ開張シ及ヒ其幫助ヲ爲シタルトキハ第五百三十二條并本條第一項ニ定メタル刑ニ營業停止ヲ附加ス

第三項 前項ニ定メタル刑ニハ特別監視ヲ附加スルヲ得
第五百三十四條

第五百三十二條第一項、第二項及ヒ第五百二十三條ニ記載シタル刑ハ賭場ヲ開張スル爲メ自家店舗貸屋ヲ給與シ若クハ讓與シタル者ニモ亦之ヲ適用シ且其店舗、貸屋ノ營業停止ヲ附加ス

第五百三十五條

本節ニ記載シタル總テノ場合ニ於テハ賭博ノ現場ニ在リシ財物及ヒ其用ニ供シタル器具ヲ沒收ス

第五百三十六條

第一項 勝敗ヲ運ニ委スルノ博戲ハ賭博ヲ以テ論ス

第二項 本節ニ記載シタル違警罪ニ付テハ代價ヲ取りテ賭博ノ器具ヲ貸與シ又ハ代價ヲ取

ラサルモ何人ノ論ナク賭博ノ爲メ人ノ出入スル公私ノ家屋ハ公衆ノ爲メニ開キタルモノヲ以テ論ス

第四節 結社及ヒ集會ニ關スル罪

第五百三十七條

第一項 一時タリトモ或ル目的ノ爲メニ設立シタル結社ハ之ヲ代表シ及ヒ指揮スル者ヨリ其地方ノ警察官ニ届出ルヲ要ス

第二項 結社ノ届出ハ其設立ヨリ八日間ニ其目的、場所、會合ノ時間ヲ明示シテ之ヲ爲シ且社員ヲ徵集スル毎ニ前以テ之ヲ爲スモノトス

第三項 前條ノ規則ニ違背スル者ハ百「リ」以上ノ科料ニ處ス
第五百二十八條

第一項 公ケノ場所又ハ公衆ノ爲メニ開キタル場所ニ於テ數人集會々合セント欲スル者ハ少ナクモ二十四時間ニ其場所及ヒ集會ノ時間ヲ明示シテ届出ルヲ要ス違フ者ハ百「リ」以上ノ科料ニ處ス

第二項 警察官ノ規定ニ背キテ集會ヲ爲シタル者ハ十六日以上一月以下ノ拘留ニ處ス

第三項 兵器ヲ携帯スルノ許可ヲ得タル者ト雖モ之ヲ持シテ第一項ニ掲ケタル集會ニ臨ム

トチ得ス違フ者ハ十五日以下ノ拘留ニ處ス但第二項ニ掲ケタル情狀アル集會ニ係ルトキハ十六日以上三月以下ノ拘留ニ處ス

第四項 法律ニ特記シタル場合ト第四百九十四條ノ規定ヲ除クノ外届出ヲ爲サス若クハ本條第二項ニ違背シタル集會ハ特別ノ法律規則ニ定メタル手續ニ從ヒ警察官ヨリ之ヲ解散スルヲ得

第三章 一般ノ健康ヲ害スル違警罪

第一節 法ニ背キテ醫術ヲ行ヒ及ヒ之ヲ施スチ拒ム罪

第五百三十九條

第一項 左ニ記載シタル者ハ五十「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス

一 法律ニ定メタル方法ニ從ヒ許可ヲ得スシテ内科、外科、醫藥商、産科醫及ヒ獸醫ノ業ヲ行フ者

二 内科、外科醫其職業ヲ行フヘキ地ニ於テ藥舖ノ營業ヲ爲ス者

三 藥舖ヲ開クヲナク且正當ニ許可ヲ得スシテ平常藥劑ヲ販賣又ハ配付スル者

第二項 前項第一ノ場合ニ於テ刑ニ處セラレタル者其刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ消滅シタル日ヨリ五年内ニ再ヒ全一ノ違警罪ヲ犯ストキハ百「リール」以上ノ科料ニ處ス

第五百四十條

第一項 前條ニ記載シタル醫術ヲ行フ者正當ノ事由ナクシテ緊要ノ場合ニ要メラレタル救護ヲ與フルヲ拒ミタルトキハ百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第二項 政府、州邑又ハ公立ノ麻舎ヨリ給料ヲ受クル醫師此罪ヲ犯シタルトキハ百「リール」以上ノ科料ニ處ス但傳染病若クハ流行病發生ノ際其職務ヲ行フヲ拒ミ又ハ之ヲ放棄シタル者ハ一月以上三月以下ノ拘留及ヒ職務停止ニ處ス

第三項 政府、州邑又ハ公立麻舎ヨリ給料ヲ受クル醫師前項以外ノ場合ニ於テ擅ニ其職務ヲ放棄シタルトキハ五十「リール」以上ノ科料ニ處ス

第二節 傳染病豫防規則ニ背ク罪

第五百四十一條

第一項 傳染病若クハ流行病ノ侵入及ヒ傳播ヲ防ク爲メ當該官署ヨリ發シタル命令ニ違背シタル者ハ百「リール」以上ノ科料及ヒ一月以上ノ拘留ニ處ス

第二項 其違令ニシテ獸類傳染病ニ係ルトキハ本刑ニ一等ヲ減ス

第三節 腐敗ノ飲食物及ヒ藥劑ニ關スル罪

第五百四十二條

第一項 藥商不完全若クハ腐敗或ハ有害ノ藥劑ヲ留置タルトキハ五十「リール」以上ノ科料ニ處シ全一ノ違警罪再犯ノ場合ニ於テハ科料ニ營業停止ヲ附加ス

第二項 藥商、醫師ノ處方ニ適合セサル品質及ヒ分量ニ於ケル藥劑ヲ給與シタルトキハ前全一ノ刑ニ處ス

第三項 第一項ニ掲ケタル藥劑ハ之ヲ沒收ス

第五百四十三條

故意ヲ以テ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シ又ハ販賣スル爲メ留置タル者ハ五十「リール」以上ノ科料及ヒ十六日以上三月以下ノ拘留ニ處シ且其飲食物ヲ沒收ス

第五百四十四條

天然ニ斃死シ若クハ老衰、疾病ノ爲メニ屠殺シタル獸類ノ肉ヲ官ノ掛リ醫員ニ於テ検査シ及ヒ無害タルコト申告セサル前ニ之ヲ販賣又ハ販賣ニ付シタル者ハ百「リール」以上ノ科料及ヒ十六日以上三月以下ノ拘留ニ處ス

第五百四十五條

水源、水溜、井戸其他受水器ノ水ヲ汚穢シタル者ハ其如何ナル使用ニ供スルヲ問ハス五十「リール」以上ノ科料ニ處ス

第五百四十六條

食料品ヲ粉碎スルノ用ニ供スル磨車ヲ以テ酸礆石灰其他有害ノ物質ヲ粉碎スルコトヲ許サス違フ者ハ十五日以下ノ拘留及ヒ五十「リール」以下ノ科料ニ處ス

第四節 毒藥ニ關スル罪

第五百四十七條

第一項 藥商又ハ化學的ノ物品ヲ製造スル者ニ非スシテ毒藥ヲ製造、販賣シ若クハ配付シタル者ハ五十「リール」以上ノ科料及ヒ一月以上三月以下ノ拘留ニ處ス

第二項 本節ニ記載シタル條則チ適用スルニ付テハ其性質、變造及ヒ調合ニ依リ人ヲシテ即時ニアラサルモ死ニ至ラシムヘキ物質ハ毒藥ニ准スルモノトス

第五百四十八條

官許ヲ得テ毒藥ヲ所持スル藥商及ヒ化學的ノ物品ヲ製造スル者并技術、職業ヲ行フニ付之ヲ使用スル者ハ左ノ場合ニ於テ百「リール」以上ノ科料ニ處ス

一 毒藥ヲ閉鎖セスシテ所持シタル時但日々販賣ノ量ヲ超過スルモノニ付テハ別室ニ閉鎖シ置カサル時

二 堅牢ナル物質ヲ以テ製シタル函ニ毒藥ヲ閉鎖シ置カサル時

三 函ノ上ニ「毒藥」ノ文字ヲ明記セサル時

四 毒藥ヲ調製又ハ販賣スル爲メ特ニ其用ニ充テタル度量衡其他ノ器械ヲ使用セサル時

第五百四十九條

第一項 藥商及ヒ化學的ノ物品ヲ製造スル者ハ技術、職業ヲ行フニ付要用アリテ且身元判然ナル者ニ非サレハ毒藥ヲ賣渡スヲ得ス違フ者ハ百「リール」以上ノ科料及ヒ一月以下ノ拘留ニ處ス

第二項 何レノ場合チ問ハス毒藥ヲ賣渡シタル者ハ其品質、分量、月日及ヒ購買人ノ姓名、住所并其技術、職業ヲ特別ノ帳簿ニ明記シ且之ニ手署シ官ノ求メアルチ俟テ之ヲ差出スヲ要ス違フ者ハ五十「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第三項 技術、職業上ノ需要ニ依リ毒藥ノ賣渡ヲ乞フ者身元判然セサルトキハ本人ノ姓名、住所、技術、職業ヲ詳記シタル警察官ノ保證狀アルニ非サレハ之ヲ交付スルヲ得ス違フ者ハ前項ニ記載シタル科料及ヒ一月以下ノ拘留ニ處ス

第五百五十條

第一項 前條ニ掲ケタル總テノ場合ニ於テハ本刑ニ技術、職業ノ停止ヲ附加スルヲ得

第二 再犯ノ場合ニ於テハ必ス本刑ニ該停止ヲ附加スルモノトス

第五百五十一條

第五百四十九條ノ規則ハ醫師ノ方劑書ヲ差出シタル藥商ニ之ヲ適用セサルモノトス

第五節 埋葬ニ關スル罪

第五百五十二條

第一項 平常ノ場合ニ於テハ二十四時、變死若クハ暴死ノ場合ニ於テハ四十八時ヲ經過スルニ非サレハ死屍ヲ乾シ又ハ埋葬シ若クハ之ヲ棺ニ納ムルヲ許サス違フ者ハ五十「リール」以上ノ科料及ヒ三月以下ノ拘留ニ處ス

第二項 前項ニ掲ケタル時間ハ町村醫員ノ死屍ヲ檢査シ及ヒ其申告ヲ爲シタル時ヨリ之ヲ起算スルモノトス

第三項 腐爛ノ徵候ヲ呈シタル死屍ハ前述期限前ト雖モ警察官ノ許可ヲ得テ之ヲ乾シ又ハ埋葬スルヲ得

第五百五十三條

第一項 死亡ノ生シタル町村ノ墓地以外ノ場所ニ於テ死屍ヲ埋葬シ又ハ埋葬セシメタル者ハ五十「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス但規則ニ許シタル例外ノ場合ハ此限ニアラス

第二項 法ニ背キテ埋葬シタル死屍ヲ移轉スルニ必要ナル費用ハ犯人ノ負擔ト爲ス
第五百五十四條

第一項 死屍ハ密閉シタル柩櫃ヲ以テ運搬スルヲ要シ寺院若クハ公ケノ場所ニ之ヲ露出スルヲ得ス

第二項 前項ノ規則ニ違背スル者ハ百「リール」以上ノ科料ニ處ス
第五百五十五條

當該官署ヨリ定メタル時間外ニ死屍ヲ埋葬スルヲ禁ス違フ者ハ五十「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第五百五十六條

本節ノ諸條則ハ當該官署ニ於テ第五百四十一條ニ記載シタル一般ノ健康ノ爲メニ別段ノ規定ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セサルモノトス其規定ニ違フ者ハ同條ニ掲ケタル刑ニ處ス

第六節 健康ヲ害スヘキ蒸發物ニ關スル罪

第五百五十七條

第一項 當該官署ニ於テ人ノ健康ヲ害シ危險ヲ生シ若クハ不都合ト認メタル製造所ヲ設立スルヲ禁ス違フ者ハ百「リール」以上ノ科料ニ處ス

第二項 官署ノ禁止ニ背カスシテ其所爲ニ出タル者ハ十六日以上一月以下ノ拘留ニ處ス

第五百五十八條

當該官署ノ許可ナクシテ麻苧其他織物ニ供スル植物ヲ溜水ニ浸ス「リール」以下ノ科料ニ處ス

第五百五十九條

第一項 肥糞、塵芥其他蒸發又ハ腐敗シ易キ物質ヲ道路、市街、所有地其他人ノ住居シタル場所ニ堆積シ若クハ投棄スルヲ禁ス其繞圍、中庭其他人ノ住居シタル家屋ノ附屬物ニ於テスル場合ト雖モ惡臭ノ爲メニ人ノ健康ヲ害スルニ至ルヘキ時亦同シ

第二項 前項ノ禁止ニ背キタル者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處シ及ヒ其物質ノ取除費用ヲ負擔セシム

第五百六十條

市街、所有地其他人ノ住居スル場所ニ於テハ官署ヨリ定メタル方法ト時間トニ據ルニ非サレハ健康ニ害アル惡臭ヲ豫防スル爲メ、厠圍、溝渠、下水ノ浚掃ヲ爲ス「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第五百六十一條

第一項 天然ニ斃死シ又ハ老衰、疾病ノ爲メニ屠殺シタル獸類若クハ傳染病ノ流行スル種類ニ屬スル獸類コシテ直チニ有益ナル使用ニ供スヘカラス且腐爛スヘキモノハ地方ノ規則ニ定メタル手續ニ從ヒ之ヲ埋ルヲ要ス

第二項 若シ其規則ノ設ケナキトキハ左ノ條件ニ從ヒ之ヲ埋ムヘシ

一 死獸ノ腐敗スル前

二 人ノ住居スル家屋ヨリハ二百メートル以上道路ヨリハ百メートル以上ノ距離ニ於テ

三 二メートルノ深サアル穴ニ於テ

第三項 前數項ノ規則ニ背ク者ハ五十「リレ」以上ノ科料ニ處ス

第四項 死獸ヲ發掘シタル者ハ其目的ノ如何ニ拘ハラヌ前同一ノ刑ニ處ス

第七節 總則

第五百六十二條

一般ノ健康ニ關スル法律、規則ニ違背シタル罪ニシテ特別ノ刑名ナキモノハ科料ニ處ス

第四章 一般ノ風俗ヲ害スル違警罪

第五百六十三條

公然言語ヲ以テ上帝ヲ瀆シ其他風俗ヲ害スヘキ罵詈、凌辱ヲ爲シタル者ハ一月以下ノ拘留ニ處ス

第五百六十四條

公衆ノ前ニ裸體ヲ露ハシタル者ハ一月以下ノ拘留ニ處ス

第五百六十五條

官署ヨリ定メタル場所ト時間外ニ於テ外戸ヲ掩ハス入浴シタル者ハ十五日以下ノ拘留ニ處ス

第五百六十六條

第一項 公ケノ場所又ハ公衆ノ出入スル場所ニ於テ醉迷スルヲ發見セラレタル者ハ直チニ警察官ニ申告シ及ヒ其醉迷ノ醒ムル迄之ヲ留置スルヲ得但其故意ニ出テタルモノハ十五日以下ノ拘留ニ處ス

第二項 賭ケ其他ノ手段及ヒ偽計ヲ用テ他人ヲ煽動シ醉迷セシメタル者ハ前全一ノ刑ニ處ス

第三項 犯人再ヒ其罪ヲ犯シ又平素醉酩ノ癖アルトキハ十六日以上三月以下ノ拘留ニ處ス

第五百六十七條

公ケノ場所又ハ公衆ノ出入スル場所ニ於テ濫リニ獸類ニ對シ殘虐苛刻ノ取扱ヲ爲シ又ハ過度ニ疲勞セシメタル者ハ百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第五章 一般ノ靜謐ヲ害スル違警罪

第五百六十八條

夜間其他官署ヨリ定メタル時間ニ喧喚放歌シ又ハ鐘鼓其他ノ器物ヲ鳴ラシテ人民ノ安眠ヲ妨害スルヲ禁ス違フ者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處シ再犯ノ場合ニ於テハ十五日以下ノ拘留ヲ附加ス

第五百六十九條

規則ニ定メタル用心ト條件トヲ遵守セスシテ鬧噪喧難ナル職業手工ヲ行ヒタル者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處シ再犯ノ場合ニ於テハ十五日以上ノ拘留ヲ附加スルヲ得

第五百七十條

現ニ生セサル災厄危難ヲ構造シ又ハ濫リニ鐘鼓其他ノ器物ヲ鳴ラシ若クハ公衆ヲシテ恐怖ノ念ヲ懷カシムヘキ方法ヲ以テ衆ノ救助ヲ求メ及ヒ官吏公力吏員ヲ動搖セシメタル者ハ三月以下ノ拘留ニ處ス

第六章 生命ノ安全ニ關スル違警罪

第五百七十一條

左ニ記載シタルモノハ違警罪トス

- 一 公ケノ通路ニ於テ材木瓦石樽商品ヲ堆積シ又ハ穴ヲ堀リ若クハ建物橋梁及ヒ建物ノ支柱ヲ爲スニ當リ必要ナル標識繞圍及ヒ點燈ヲ怠リタル者
- 二 正當ナル職掌ヲ有セスシテ公ケノ點燈ニ供スル燈火又ハ前段ニ記載シタル燈火ヲ消シタル者
- 三 人ノ住居シタル場所ニ於テ火器烟火其他類似ノ物品ヲ玩ヒ又ハ瓦礫ヲ投擲シタル者
- 四 己レノ看守ニ委セラレタル發狂人ヲ解放シテ徘徊セシメタル者
- 五 己レニ屬シ又ハ看守ニ委セラレタル危險若クハ猛惡ナル獸類ヲ解放シ或ハ規則ニ從テ之ヲ看守セサル者及ヒ己レニ屬シ又ハ委托セラレタル狂犬ヲ看守シ或ハ官ニ申告スルヲ怠リタル者
- 六 馱載ノ獸類ヲ繫留シ又ハ之ヲ導引執御スルノ方法ニ依リ若クハ馬車其他ノ車及ヒ獸類ヲ疾驅セシメテ他人ノ身體ヲ危殆ナラシメタル者
- 七 荷物ヲ載セタルト車ニ繫キタルトヲ問ハス不熟練ニテ馬其他ノ獸類ヲ御シ又ハ不經

驗ノ者ニ之ヲ委テタル者

八 衆人ノ輻湊スル場所ニ於テ荷物ヲ積ミ又ハ車ニ繫キ若クハ解放シタル馬其他ノ獸類ヲ置キ之ヲ看守セサル者及ヒ往來ノ人并馬車ノ通行ヲ妨害シタル者

九 官署又ハ會社ヨリ發シタル規則ヲ遵守セスシテ鐵道ノ線路上乘客及ヒ列車ヲ危殆ナラシメタル者但特別ノ法律ヲ以テ規定シタル場合ハ此限ニアラス

十 墮落シテ通行人ヲ傷ケ又ハ單ニ汚穢スヘキ物品ヲ窓牖及ヒ看樓ニ肆シ或ハ釣シタル者

十一 叫喚、鞭撻シテ獸類ヲ嚇シ又ハ驚逸セシメタル者

十二 如何ナル所爲ニ出ルヲ問ハス其他一般ニ豫知スルヲ得ヘキ身體ニ對シ毀傷ヲ受クルノ危險ヲ生セシメタル者

第五百七十二條

第一項 前條ニ記載シタル違警罪ヲ犯ス者ハ科料及ヒ拘留ニ處ス該刑ハ亦各別ニ之ヲ科スルヲ得但第五、第九ノ場合ヲ除クノ外拘留ノ刑ハ一月ニ過クルヲ得ス

第二項 第六、第七、第八ノ場合ニ於ケル犯人御者其他牛馬ヲ取扱フ者ナルトキハ必ス其職業停止ヲ附加スルモノトス

第三項 第一、第八、第十ニ掲ケタル違警罪ヲ旅店ニ於テ犯シタルトキ旅店ノ主人現ニ其情ヲ知り又ハ知り得テ之ヲ制止セス又ハ制止スルニ必要ナル處分ヲ爲サル場合ニ於テハ犯人ノ刑ニ處ス

第五百七十三條

新規ナルト修繕シタルトヲ問ハス又拵附ケタルト否ラサルトヲ問ハス蒸氣罐ヲ未ダ試験ヲ經サル前又ハ特別ナル法律、規則ニ由テ要シタル許可ヲ受クル前若クハ其法律、規則ニ定メタル方法及ヒ條件ヲ遵守セスシテ使用シタル者ハ百「リール」以上ノ科料ニ處ス

第五百七十四條

第一項 建物ヲ保存シ又ハ修繕スルノ義務ヲ有スル者邑廳ヨリ派出シタル鑑定人ノ意見ニ依リ破損シ其他他人ノ安寧ニ危害アルモノト認メラレタルニ當リ其危害ヲ防止スルノ處分ヲ爲サ、ルトキハ五十「リール」以上百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第二項 前項ニ記載シタル場合ニ於テ邑廳ノ告諭アルニ拘ハラス其建物ヲ修繕シ又ハ毀壞スルヲ怠リタル者ハ百「リール」以上ノ科料ニ處ス若シ其建物ノ既ニ崩壞ニ至リタルトキハ十六日以上一月以下ノ拘留ニ處ス

第三項 裁判官ハ犯人ノ費用ト邑廳ノ監督ヲ以テ其修繕ヲ爲スヲ命スルヲ得

第五百七十五條

第一項 建物ノ破損シタルニ當リ造家師、工師、職工長、指揮者、建築師ノ錯誤、懈怠、不注意ニ依テ其破損ヲ生シタルトキハ百リ一以上ノ科料及ヒ職業停止ニ處ス

第二項 本條ノ規定ハ橋梁若クハ家屋其他同種類ナル物件ノ建築、修繕ニ關スル支柱ノ破損シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第五百七十六條

火器ヲ攜帶スルノ許可ヲ得タル者ト雖モ幼兒其他使用ノ方法ヲ知ラサル者ニ彈丸ヲ裝置シタル儘之ヲ交付シ又ハ持セシメ若クハ幼兒ノ容易ニ執ルヲ得ヘキ場所ニ之ヲ放棄シタル者及ヒ人ノ住居シタル場所ノ内部或ハ公ケノ馬車内ニ於テ彈丸ヲ裝置シタル小銃ヲ携帯シタル者ハ五十「リール」以下ノ科料ニ處ス

第七章 公私ノ財産ヲ害スル違警罪

第一節 汚損、毀壞、殘害ノ罪

第五百七十七條

第一項 公ケノ記念碑、建造物、運動場及ヒ其附屬物、墓所、市街、所有地其他人ノ住居スル場所ノ内部ニアル道路、市府ノ門戶、柵欄、常燈ヲ汚損、殘害シタル者其損壞ノ罪ト爲ラサルニ

於テハ三月以上ノ拘留ニ處ス

第二項 私ノ建築物ヲ汚損、殘害シタル者其損壞ノ罪ト爲ラサルニ於テハ百「リール」以下ノ科料ニ處ス

第五百七十八條

當該官署ノ許可ナクシテ共有地又ハ大道ニ障礙物ヲ置キ若クハ擅ニ之ヲ占領シタル者ハ特別ノ法律、地方ノ規則ニ明文ナキニ於テハ五十「リール」以下ノ科料ニ處ス

第五百七十九條

前條ノ規則ハ左ノ場合ニモ亦之ヲ適用ス

- 一 國道、州道、邑道ニ沿フテ新クニ建築ヲ爲シ又ハ單ニ修繕ヲ爲シ其修繕ノ一時ニテモ往來ノ障礙トナル時
- 二 前段ニ掲ケタル建造物ノ窓戶ニ地面ヨリニメートル以下ノ高サニ於テ鐵欄又ハ突出スル板簾ヲ裝置シタル時

第五百八十條

當該官署ノ告諭ヲ受ケテ己レニ屬スル樹木ノ道路ニ蔓出スル枝幹ヲ剪伐セサル者ハ特別ノ法律、地方ノ規則ニ明文ナキニ於テハ五十「リール」以下ノ科料ニ處ス

第二節 盜犯及ヒ侵襲豫防手段ニ關スル罪

第五百八十一條

第一項 寶玉師、金銀細工師其他總テ高價ナル物品ノ賣買ヲ業トスル者、錫器匠、銅器匠、古着商、古鐵商及ヒ同種類ノ商業ヲ爲ス者、買入、質入、仕拂、交換トシテ請取リタル諸物品ヲ精密ニ帳簿ニ登録シ且其物品所有者ノ氏名、身分、住所ヲ掲載スヘシ

第二項 右帳簿ハ物品ヲ買入レタル日ニ次テ之ヲ官署ニ差出シ又官署ノ命令アル毎ニ之ヲ差出スヘキモノトス

第三項 本條第一項及ヒ第二項ニ掲ケタル義務ニ違背シタル者ハ五十「リ」以上ノ科料ニ處シ再犯ノ場合ニ於テハ一年以上三年以下ノ拘留及ヒ營業停止ヲ附加ス

第五百八十二條

前條ニ記載シタル諸人賣段商又ハ製造人ヨリ購求シ若クハ公賣ニ於テ買入レタル物品ハ其條則ニ從フノ限ニアラス

第五百八十三條

咖啡店營業人、旅店及ヒ飲酒店ノ主人又ハ廐奴其土地ニ於テ知ラレサル者或ハ浮浪無産ニシテ特別監視ニ付セラレタル者若クハ財産ニ對スル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルヲ知ル

所ノ者ヨリ勘定、質物或ハ附托トシテ受取リタル總テノ物品ニ付テハ第五百八十一條ニ記載シタル義務及ヒ刑ニ服スヘキモノトス

第五百八十四條

第一項 前數條ニ掲ケタル諸人ハ警察官ノ許可ヲ得且該數條ニ定メタル方法ニ從ヒ購求若クハ交付ヲ爲シタルヨリ八日ヲ過クルニ非サレハ其收受又ハ賣渡シタル物品ノ摸樣ヲ變更スルヲ得ス

第二項 前項ノ規則ニ背キタル者ハ五十「リ」以上ノ罰金及ヒ三月以下ノ拘留ニ處ス但其帳簿ニ於テ物品交付ニ付キ虛偽ノ記載ヲ爲シ又ハ其日付ヲ變更シタルトキハ拘留ノ刑期ヲ六月以下ニ伸スヲ得

第五百八十五條

善意ヲ以テ金額ヲ請取リ又ハ犯罪ヨリ生シタル物品ヲ買取リタル者其贓物ナルヲ知リタルトキハ二十四時間ニ司法警察官又ハ其地ノ警察官ニ申告スヘシ違フ者ハ五十「リ」以上ノ科料ニ處ス但十五日以下ノ拘留ヲ之ニ附加スルヲ得

第五百八十六條

第一項 鐵匠、鋸師其他ノ工匠ハ何人ノ爲メニスルヲ問ハス「グリマデルロ」(鋸師ニテ鎖鑰

具(ユル)ヲ販賣、交付シ又ハ其用ニ充ツヘキ物品所有主ノ爲メニシ或ハ己レカ知ル所ノ其代理人ノ爲メニスル場合ヲ除クノ外ハ蠟ノ印影其他ノ印版又ハ模型ニ付キ鎖鑰ヲ製造スルヲ禁ス

第二項 前項ノ禁止ニ違フ者ハ一月以上ノ拘留ニ處ス

第五百八十七條

第一項 鐵匠、鑄師其他ノ工匠ハ他人ノ要求ニ依テ鎖鑰ヲ開ク前其要求者ノ所有主ナルカ又ハ代理人ナルカヲ確メサルヘカラス

第二項 前項ノ義務ニ違背スル者ハ十六日以上一月以下ノ拘留ニ處ス

第五百八十八條

第一項 偽造、變造ノ鎖鑰「グリマデルロ」合鍵其他門戶鎖鑰ヲ開クニ供スル物品若クハ假裝ノ具ヲ所持スルヲ發見セラレタル者其所持ノ正當ナル事由ヲ示サ、ルトキハ一月以上ノ拘留ニ處ス

第二項 前項ノ事實ニシテ夜間ニ生シ又ハ其物品ヲ所持スル者乞丐、無産、浮浪者ナルトキ若クハ特別監視ニ付セラレ或ハ財産ニ對スル罪ニ依テ刑ニ處セラレタル者ナルトキハ三
月以上ノ拘留ニ處ス

第三項 其物品ハ必ス之ヲ沒收スルモノトス

第五百八十九條

第一項 乞丐、無産、浮浪者及ヒ特別監視ニ付セラレタル者假裝シ若クハ過分ノ貨幣其他價額アル物品ヲ所持スルヲ發見セラレ其原由ヲ證明セサルトキハ一月以下ノ拘留ニ處ス

第五百九十條

第一項 土地ノ生産物ヲ場所、時季、身分ニ關シ不相應ニ所持シ其出所ニ付キ嫌疑ヲ受ケタル者其所有主ニアラス又ハ小作人タラズシテ其所有ノ原由ヲ證明セサルトキハ一月以下ノ拘留ニ處ス

第二項 其生産物ハ之ヲ沒收ス

第五百九十一條

蠶蟲又ハ家畜ヲ有スル者之ヲ飼養スルニ適スヘキ土地ノ占有者若クハ耕作人タラス又小作人或ハ工業ノ仲間ニアラスシテ其給與スル養料ノ出所ヲ證明スルヲ能ハサルトキハ一月以下ノ拘留ニ處シ且裁判言渡書ニ定メタル期限内ニ其蠶蟲又ハ家畜ヲ賣却シ或ハ滅却スルノ義務ヲ有ス

第二項 若シ犯人前項ニ掲ケタル期限内ニ官署ノ命令ニ従ハサルトキハ裁判所ニ於テ公賣處分ヲ施スモノトス

第五百九十二條

出所ノ證明ヲ得スシテ物品ノ種類又ハ供給者ノ身分ニ因リ若クハ其要求シ或ハ承諾シタル代價ニ因テ贓物ト思料スルモノヲ買入レ又ハ質入、仕拂、附托トシテ受取リタル者ハ百リ一以下ノ科料ニ處ス但犯人第五百八十一條ニ記載シタル營業者ナルトキハ仍ホ一月以下ノ拘留ニ處ス

第三節 人ノ財産ヲ毀壞損害スル罪

第五百九十三條

鑄鐵爐、蒸氣器械其他製練場、工業場ヲ有シ又ハ或ル目的ノ爲メ人ノ住居シタル場所若クハ燃燒物ヲ貯藏スル倉庫、置場ノ近傍ニ於テ火ヲ焚キ以テ火災ニ至ラントスルノ危嶮ヲ生セシメタル者ハ百「リ」以上ノ科料ニ處ス

第五百九十四條

第一項 疎虞、懈怠又ハ己レノ技術、職業ニ不熟練ナルカ爲メ若クハ規則、懲戒ヲ遵守セサルニ因リ或ル災厄ヲ生セシメタル者ハ五十「リ」以上ノ科料ニ處ス

第二項 再犯ノ場合ニ於テ犯人技術、職業ヲ行フ者ナルトキハ職業停止ヲ附加ス

第五百九十五條

第一項 左ニ列記シタルモノハ違警罪トス

第一 他人ノ園庭、繞圍内又ハ他人ノ家屋、小舎ノ門戶、窓廂、牆壁ニ石其他堅硬ノ物體及ヒ塵芥ヲ投擲シタル者

第二 權利者ノ許可ヲ得スシテ牆壁、溝渠其他ノ繞圍ヲ設ケタル他人ノ地所内ニ入りタル者但止ムヲ得スシテ公ケノ通路ヲ遮斷セラレタル場合ハ此限ニ在ラス

第三 權利者ノ許可ヲ得スシテ他人ノ地所内ニ於テ刈殘ノ禾穂ヲ採取、把聚シタル者

第四 飲用ノ水ヲ汚穢シ又ハ石灰、硝子ノ切片其他ノ碎塊ヲ散布シテ獸類ヲ死傷ニ致シ若クハ如何ナル方法ニ出ルヲ問ハス之ヲ實用ニ供スヘカラサル者ト爲シタル者

第二項 前項ニ記載シタル違警罪ノ犯人ハ科料ニ處シ再犯ノ場合ニ於テハ三月以下ノ拘留ニ處ス但第二、第三ノ場合ニ於テ囊車其他ノ器具ヲ用ヒテ本罪ヲ犯シ又ハ五人以上コトヲ犯シタルトキハ其拘留ノ刑ハ一月以下タルヲ得ス

第三項 本條ニ掲ケタル違警罪ハ被害者ノ告訴ヲ俟テ之ヲ論ス

右違警罪ヲ確ムルニ當リ公力吏員ニ於テ其犯人ノ現行犯ナルヲ認メタルトキハ被害者

ノ告訴ヲ必要トスルノ限ニアラス

總則

第五百九十六條

町村警察規則又ハ其管轄内ノ或ル官吏ノ處分ニ違フ者ハ該規則或ハ特別ノ處分ニ定メタル程度ニ從ヒ警察ノ刑ニ處ス但拘留ニ付テハ十五日、營業停止ニ付テハ一月、科料ニ付テハ百「リール」ニ過シルコトヲ得サルモノトス

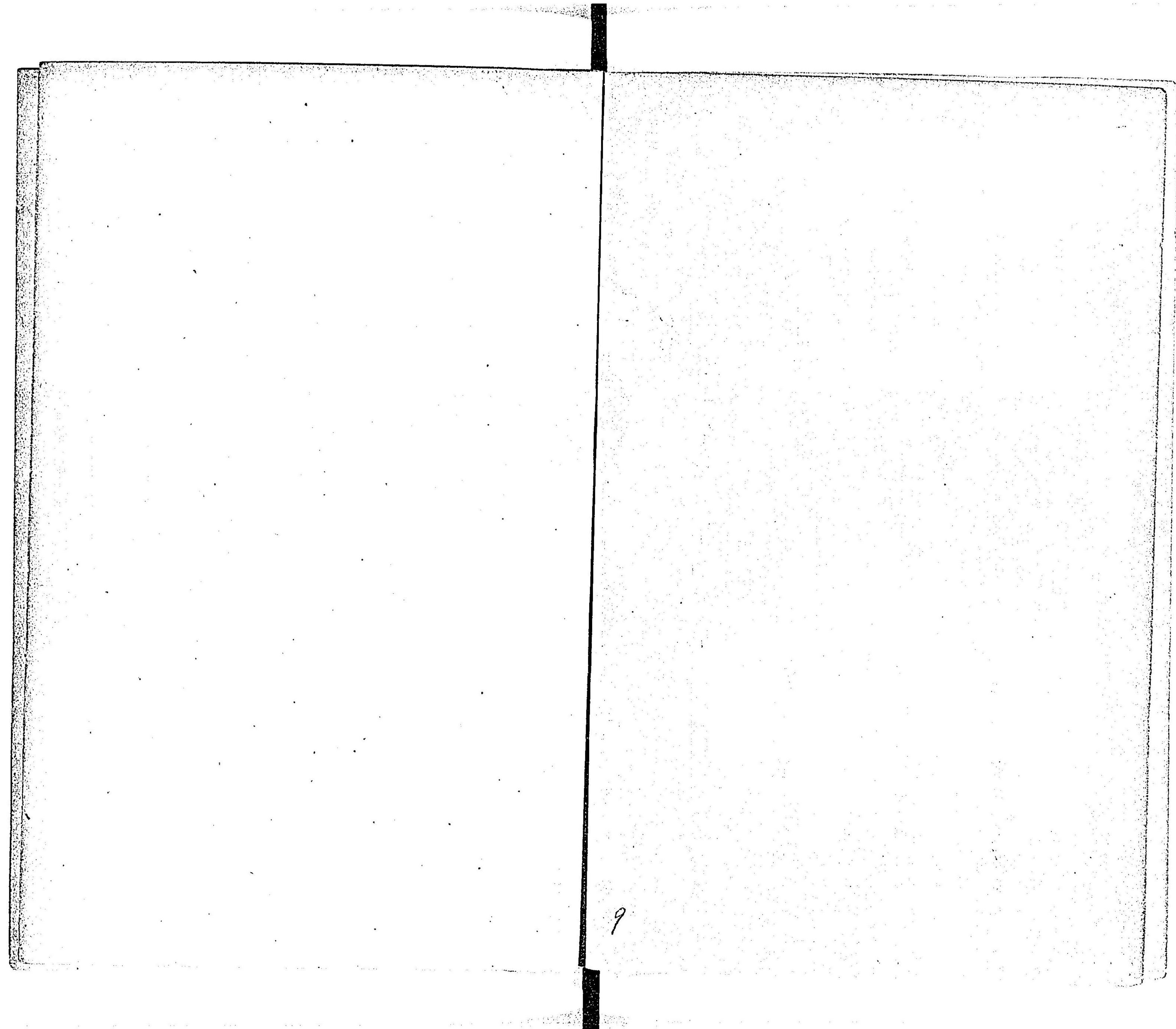
此法律頒布前ニ係ル特別ノ規則又ハ處分ヲ以テ定メタル警察ノ刑ハ現行刑法ニ從ヒ之ヲ適用スルモノトス

伊太利王國刑法草案大尾

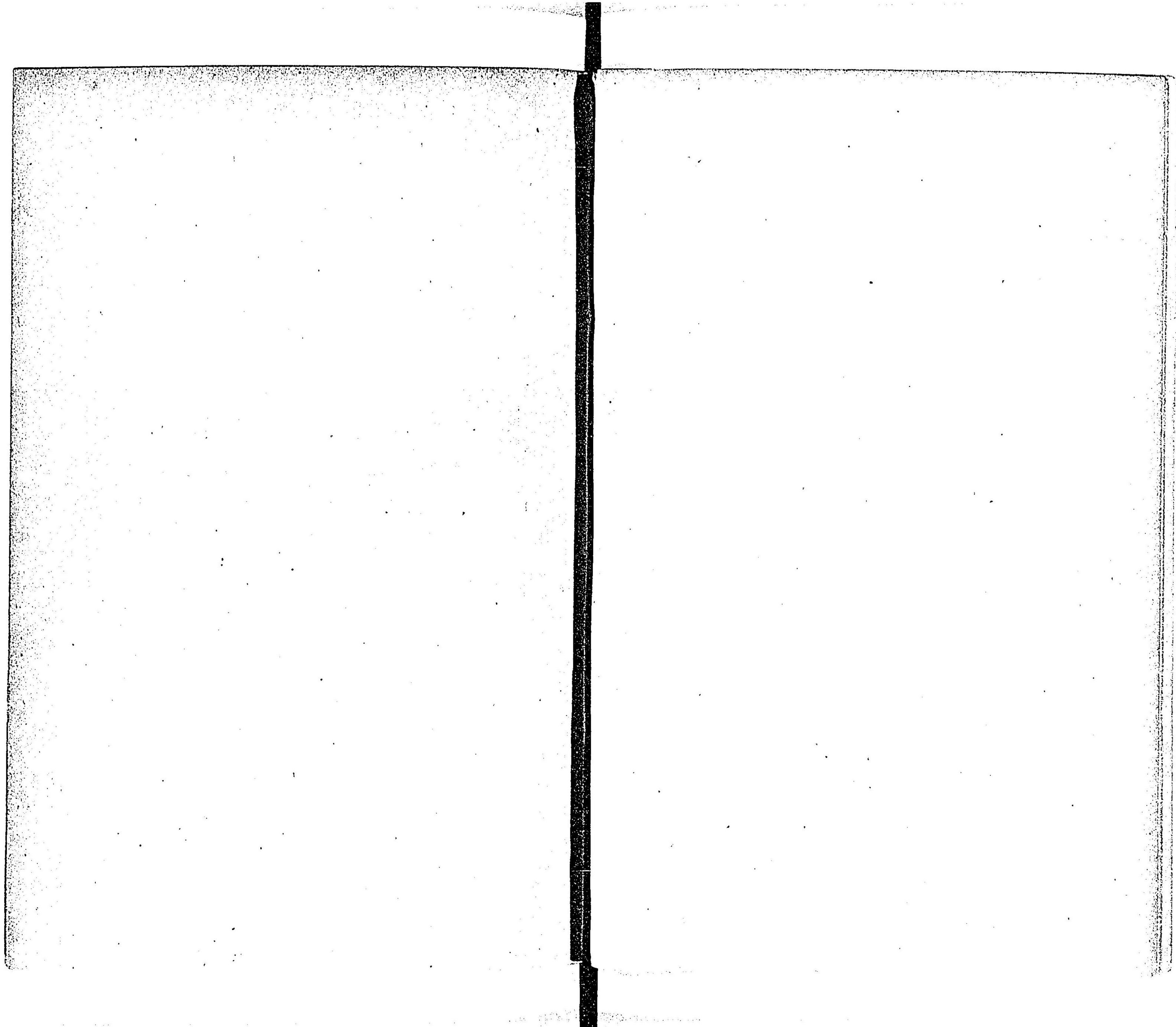
明治二十一年七月五日 出版

版權所有

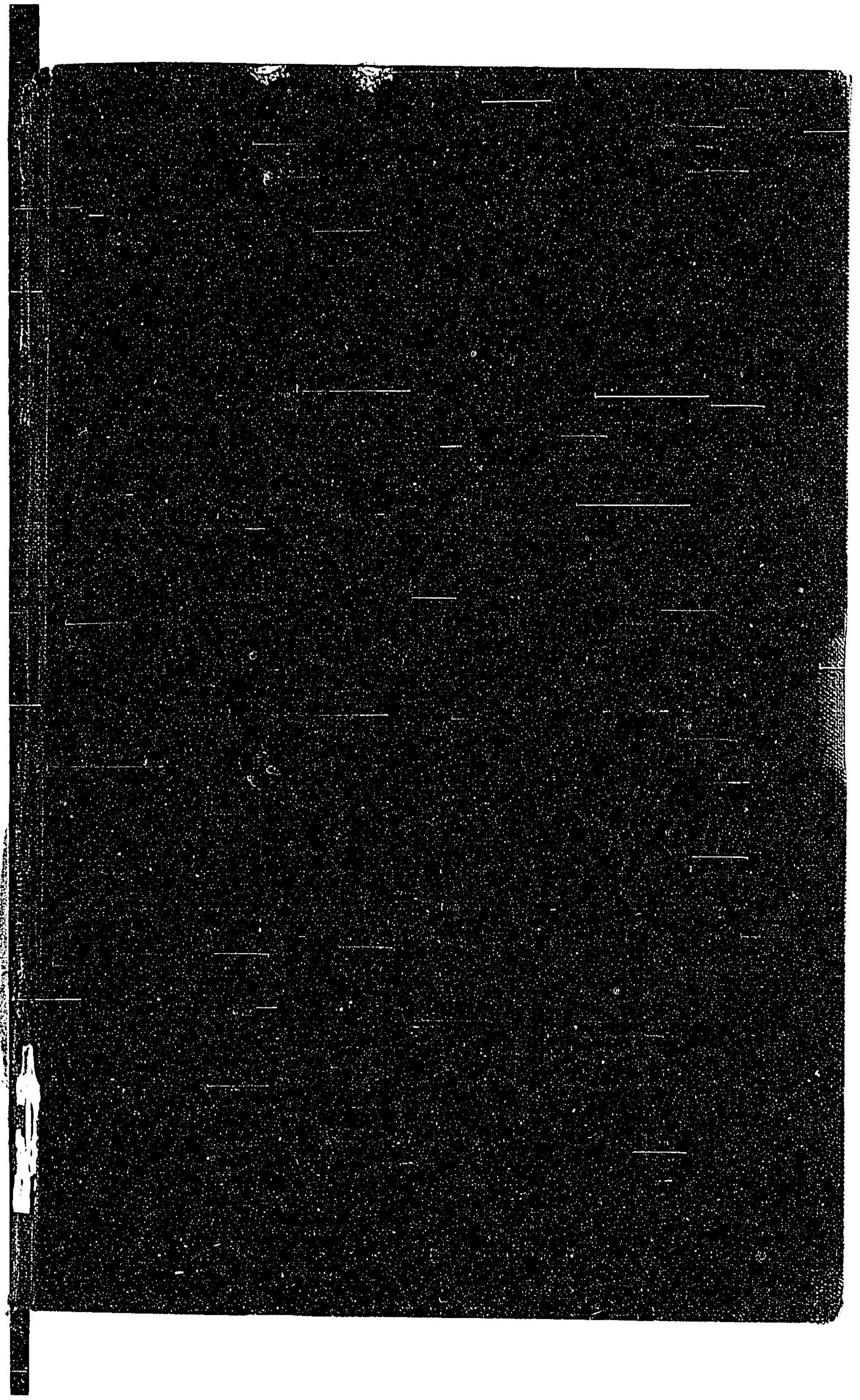
司 法 省



9



17
38



17
38

035479-000-8

17-38

伊太利王国刑法草案

司法省

M21

BBP-0015



